

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄(速記)第七回

會議

昭和八年二月二十五日(土曜日)午後一時四十五分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事出井 兵吉君 理事久山 知之君

理事佐藤 重遠君 理事高橋 守平君

理事原 淳一郎君

河野 一郎君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 平野桑四郎君

田中 貞二君 福井 甚三君

松山常次郎君 清家吉次郎君

白神 邦二君 三善 信房君

宮崎 一君 池田 秀雄君

山田 助作君 高田 耘平君

小池 仁郎君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

拓務大臣 永井柳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清徳君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

臺灣總督府總務長官 平塚 廣義君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス

○清家委員 先日ノ續キデアリマスガ、私

共ノ此統制法案ニ對シマシテ、最モ困難ヲ

感ジマスル問題ハ、申スマデモアリマセヌ、

生産費ノ價格、ソレカラ次ハ臺灣米ニ對ス

ル處分デアリマス、先日質問ヲ始メテ居リ

マシタガ、私ハ遠慮ヲ致シタノデアリマス、

何故ニ朝鮮米、臺灣米ヲ安ク賣ラセテ、内

地米ヲ壓迫シナケレバナラヌカト云フコト

ガ、私ニハ分リマセヌ、品物ガ良クテ、乾燥

モ能ク出來テ居ル、殊ニ朝鮮米ハ乾燥工合

モ非常ニ宜シイ、ソレカラ脂肪ノ含有量モ

多クシテ、口ニ甚ダ美味ヲ感ズル、斯様ナ

モノガ内地米ヨリモ二圓、二圓五十錢ト安

クナラナケレバナラヌト云フコトハ、是ガ

禍根ニナリマスノデ、其禍根ヲ除キ去ルニ

付キマシテ、何等御成案ノナイラシイ狀態

デアリマシタガ、ドウシタモノデアルカ、

鮮臺人ト雖モ共ニ陛下ノ赤子デアアル、故ニ

一視同仁ナラザルベカラズ、是ハ御尤千萬

デアアル、我ガ版圖ニ歸シ、我國ト併合シタ

ル所ノ國民ニ對シマシテ、何等差別ノアル

譯ハアリマセヌガ、高ク買フベキ米ヲ安ク

賣ラセルト云フコトハ、是レ差別ノ明瞭ナ

ル現ハレデアリマセヌカ、之ニ付キマシ

テ農林大臣及拓務大臣ハ如何様ニシテ、内

外地ヲ均等ニ待遇スルト云フ御考ヲ持ッテ

居ラレルノデアアルカ、此問題ヲ解決シマス

レバ、ヤカマシク各同僚カラ御尋ヲ致シマ

シタ數量論モ、其他ノ論モ總テ消エテシマ

フノハ、必至ノ問題デアリマス、此問題ヲ

解決シサヘスレバ、國家ガ管理シヨウガ、

ドウ致シマセウガ、鮮臺米ノ内地米ヲ壓迫

スル情勢ハ熄ミ得ル筈デアリマス、第一ノ

御尋ハ斯ウ致シテ置キマシテ、ソレカラ一

問一答ニ致シタイト存ジマス

○永井國務大臣 朝鮮米ノ買上、賣拂ノ場

合ニ價格ノ點ヲ考慮シナケレバナラヌト云

フ御意見ハ、如何ニモ御尤デアリマス、併

付託議案

米穀統制法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

シ今日マデハ大體ニ於テ買上ノ場合モ、賣

拂ノ場合モ是ハ入札ニ依ッテ居ルコトハ、御

承知ノ通りデアリマスガ、又特別ニ高ク賣

ルト云フ方針ヲ執リマシテモ、是ハ又買手

ガナケレバ非常ニ困ル譯デアリマシテ、ソ

コノ價格ノ調節ハ、當局ノ最モ苦心スル所

デアラウト思ヒマス、併シ買上、賣拂ノコ

トハ、農林省ノ方ニ於テ主管シテ居リマス

ノデ尙ホ詳細ノコトハ、政府委員ノ方カラ

御話申上ゲル積リデアリマス

○清家委員 サウ云フ御答ガ出ルコトハ豫

期シテ居ルノデアリマスガ、併シ農林大臣

モ關係ニナリマセウケレドモ、相當ノ格付

ト云フモノガアッテ然ルベキデアルト思ヒ

マス、格付ヲ正當ニ致シマスレバ、良イ物

ハ値ガ上リマス、勿論朝鮮米ヲ買フニ及バ

ヌ程、内地米ガ豐富ニハマダ相成ッテ居ラ

ヌノデアリマシテ、私ハ此間冗談ニ言フタノ

デアリマスガ、内地米ヨリ高クナレバ買手

ガナイカラ、問題ハ片付クト申シタノデア

リマスケレドモ、左様ナ事ハ一場ノ戲レト

御聞流シニナッテ宜シイ(笑聲)眞面目ニ申

セバ、左様ナ買手ノナイヤウナ事ヲシヨウ

ト云フ考デアアリマセス、併シ私ハ今日ノ政治ノ重要ナ地位ニ居ル御方々ガ、餘計ナ心配ヲシ、或ハ職務以外ニ、越脱ヲ致シテ、御節介ヲ掛ケル人ノアルコトヲ遺憾ニ思フ、私ハ朝鮮八道到ル所ニ友人ニ滿チテ居リマシガ、(笑聲)笑ヒ事デヤナイ、當リ前ダ、世界中何處ニモ友達ガアル——ソレ等カラノ報告ヲ聽キマスノニ、政務總監及警務局長ハ、今回ノ議會ニ於ケル米穀統制法ガ實施セラレルナラバ、朝鮮ノ農民ハ立行クベカラズ、故ニ之ニ對シテハ反對運動ヲ大ニセヨト云フコトヲ飛檄シテ、警告シタサウデアリマス、政府ガ米穀統制ヲ行ハントシ、殊ニ其法律ヲ茲ニ定メントスルニ當リマシテ、一屬僚タル人ガ朝鮮民ヲ煽動致シテ、反對ヲシロト云フ檄ヲ飛バシタト云フコトハ、ヨモヤ拓務大臣ハ御存ジナイコトハナカラウト思フ、斯様ニ致シテ官紀ガ保タレマスカ、政府ノ役人自身ガ、大ナル官紀ノ紊亂及朝鮮統治ノ妨害ヲ爲シツ、アリト謂ハザルヲ得ナイ、證據書類ガ欲シケレバ、何時デモ警察ヲ出動サレテ御調べ爲サイ、東京ニモ一枚ヤ二枚アリマス、是ハ到ル所ニアルノデアリマス、是ハドウシタモノデアリマスカ、私共ハ政府ニ眞ノ誠意アラバ、左様ナ事ハ下僚ヲ戒メテ、爲サシ

ムベカラザル事デアアルシ、又價ノアル物ヲ下値デ賣ッテ居ル今日ノ朝鮮、臺灣ノ農民ノ窮乏ヲ救ハウト云フ爲ニハ、相當ナ値段ヲ持タスノハ當リ前ノ事デアアル、然ル所斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、一向今マデ計ヲ廻ラシテ居ラレル跡ガ見エテ居ナイノデアリマス、昨日モ政務總監ハ同僚ノ問ニ對シマシテ、用水池ヲ造リ、水路ヲ造ル、ソレニ付テハ米ノ生産費ヲ如何ニ積ラシタカト言フ問ニ答ヘラレテ、先ヅ米一石八圓ノ値打ノ所ナラ、仕事ヲシテモ宜イト云フコトデヤラシテ居ルト答ヘラレタ、先日來米一石ノ生産費ハ幾ラデアリマスカト問ヒマシテモ、米穀部長モ分ラヌト言ハレル、總テニ於テ明カニナリマセナンダガ、問ニ對スル直接ノ答ナラズシテ、間接ノ答ト致シマシテ、一石ガ十六圓デ濟ムト云フコトハ昨日デ明瞭ニナッテ居ルノデアリマス、十六圓デ濟ムモノヲ二十圓デ賣ラセタナラバ、朝鮮民ノ仕合ハ非常ナモノデアアル、私ハ言フマジキ事ハ成ベク言ヒタクアリマセヌガ、年來ノ政府ノ米穀法ニ依レル損失ノ、補ヒノ一助ニモ是ハ供シ得ナイコトモナイトモ言ヘナイ、ソレ等ノ問題ニ付キマシテハ他ニ影響モアリマスカラ、細カニハ申シマスマイケレドモ、サウ云フコトヲ十分ニ總督府ノ人

人ガ知ッテ居リナガラ——此統制法ガ如何ニ現ハレルカ、及ビ勅令發布ヲ見ル迄ハ分ッタ限リデハナイノデアリマス、然ルニ暴動——暴動ト言ッテハ過ギルカ知レマセヌガ、少クトモ運動ヲ開始スルヤウニ煽動シタ人ガアルト云フコトハ、ドウ云フ事デアアルカ、拓務大臣ハ知ラズニ今日迄居ラレルトスルナラバ、ソレハ迂濶ト云フモノニナッテ來ル、知ッテ知ラヌ顏ヲスルト云フナラバ、是ハ怠慢ト云フコトニナル、何レニ致シマシテモ私ハ是ハ聞捨テニ相成ル間敷キ事ト存ジテ居リマス、此點ヲ御聞キニナッテ居リマスカ、如何デアリマスカ、及ビ今ノヤウニ、賣レヌヤウニナッテハ困ルト云フヤウナ、亂暴ナ事ヲ仰シヤラヌデ、賣レル程度ニ於デドウ云フ計畫ヲ有ッテ居ラレルカト云フコトヲ御答ヲ願ヒマス

鮮米ガ内地米ノ打撃ニナラナイヤウニ、價格ノ點ヲ特ニ考慮シナケレバナラナイ、數量ノ統制ダケデナク、價格ノ統制ニ付テモ考慮シナケレバナラナイト云フ御意見ハ如何ニモ同感ニ存ジマス、其點ハ私共出來ルダケ此運用ニ際シテ、將來モ考慮シタイト思ヒマス、農林省ニ於テモ、買上賣拂ニ際シテハ、私共ト同ジ考ヲ有ッテ居ラレルコト、信ジマス

○清家委員 私ハ拓務大臣ノ管轄事項ニ付キマシテ尙ホ——御尋ヲシナケレバナラヌ事ガアリマシガ、序ニナリマシタカラ農林大臣ニ伺ヒマシガ、朝鮮米ノ價格ニ付キマシテ、昨日モ尋ネラレタ方モアリマシタガ、一晚寢レバ又御考ガ熟スル譯デアリマス、何トカ今日ハ熟シタ御考ヲ以テ御臨席ニナリマシタカ(笑)エライ御尋ノヤウデアリマスケレドモ、是ハ今回ノ統制法ヲ有效ナラシムルカ、又ハ破綻ヲ生ゼシムルカノ根本問題ニ互リマス、御考ガ熟シマシタラ——今日マダ御考ガ付カヌヤウナラバ、此次ノ會デモ差支アリマセヌ、兎ニ角御思慮ヲ御練リニナリマシテ、有效ナ御答辯ヲ——無效ナ御話デハイケマセヌヨ(笑聲)有效ナ御答辯ヲ私ハ要求致シマス

○後藤國務大臣 清家君ノ朝鮮米ノ價格ニ

對スル御尋ハ、私昨日モ斯ウ云フコトニ解シタノデアリマス、内地ノ取引所ニ於テ朝鮮米ニハ格差ガ付イテ居ル、ソレガ宜クナイノデハナイカ、矢張り朝鮮米ハ朝鮮米ノ實質ニ從テ、内地米ノ相當ナモノトノ比較ニ依ッテノ格差ナラバ宜シイガ、朝鮮米ダケハ一概ニ低イヤウニナッテ居ル事ガ宜クナイノデハナイカ、ソレヲ改メタラドウカト云フコトニ歸著スル御尋ノヤウニ解シタノデスガ、サウデセウカ(清家委員)自然サウ云フコトニナリマス(是ハ是マデ朝鮮米ハ内地米ヨリモ悪カッタノデス、過去ニ於テハ……(清家委員)今モ惡イ)惡カッタ爲ニ朝鮮米ト云フモノハ、ズット格外ノモノト扱ヒ、又格差ヲ付ケテ扱フト云フヤウナコトニナッテ居リマシテ、初メハ格ノ扱ヒニモ入ラナカッタ、ソレガ段々進ンデ參リマシテ朝鮮米ノ格付ノ關係ガ段々此内地米ニ接近シテ參ッタト云フ今日狀態ニアルト思ヒマス、ソコデ其事ハ朝鮮米トカ、内地米トカ、差別ヲ付ケテ御話ヲスルコトハ工合ガ惡イ、無差別ニ一視同仁ニ考ヘル譯デスガ、是迄ノ過去ノ狀況ニ於テ朝鮮米ガ内地米ヨリ品質、調製ノ方法等、色々ナ點デ劣ッテ居ル點ガアルカラ、是迄格外、或ハ相當ナ格差ヲ付ケテ扱ハレテ居ッタト云フコトハ、全體ノ

米カラ見テ公平ナコトデアッタと思フ、過去ニ於テハ——段々朝鮮米ガ良クナッテ來タ今日、今ノヤウナ格ヲ付ケテ扱ッテ居ルコトガ、内地米ノ價ヲ引下ゲルヤウナ働ヲシヤシナイカト云フ懸念ガ生ジテ來タノデアリマスガ、最近ノ正米市場邊リノ關係ヲ見マスト、朝鮮米ノ方ガ高クナッテ居ルヤウナ關係ガアル、尤モ高クナルト云フノハ、同ジモノガ朝鮮米ダケ高イト云フノデアリマセヌケレドモ、實際ノ米ノ品質ニ依ッテ、等差ニ依ッテ取引ガ行ハレルト云フ事實ガ、サウ云フ結果ヲ生シデ參ッタノダラウト思ヒマス、自然サウ云フコトニナリマスレバ、取引所ニ於ケル格差ノ問題ガ、段々更正サレルコトニ相成ルデアラウト思ヒマス、清家君ノ御心配ノ如キ點ハ、自然ニ取除カレルニ至ルコト、私ハ思ヒマス

○清家委員 先日政府委員カラモ、或ル種類ニ於テハ内地米ヨリ高イト云フコトハ、既ニ説明ヲセラレタノデアリマスガ、單ニ是ハ取引所ノ歴史カラ見マシテモ、是ハ農林省ノ専門ノ方々ハ御分リニナッテ居ル譯デアリマスケレドモ、初メ格建ニ入レナカタガ、格付ガ出來タ時ニハ——取引所ノ手カラノ遣取リデナクシテ、朝鮮ノ直移入ニ關スルモノナンカハ、少クトモ二圓ハ安イ、

實際ノ場合ハ吾々ノ方ハ便利ガ宜イカラ、大船ニ積入レテ持ッテ來ル、内地米ヨリハ二圓バカリ安イ、サウ云フコトハ吾々ノ地方バカリデヤナイ、東京ニ於テモ、大阪ニ於テモ、盛ニ朝鮮米ガ内地米ニ混合セラレテ居ルト云フコトモ、事實上ソレガ安イカラニ相違アルマイ、朝鮮ノ一等米等ガ日本ノ或ルモノヨリ高イトハ分ッテ居ルケレドモ、ソレヲ以テ安心爲サルト云フコトハ、一寸早過ギル、實際一ツ米屋ノ狀態ナドヲ御調べニナッテ、モウ少シ練ラレルガ宜イト思フ、マアサウシテ置キマセウ、ドウシテモ同一ニセナケレバナラスト云フコトヲ農林當局ガ御考ヲ得タト云フコトハ、是非常ナ結構ナコトデアルト思フ、米ノ持ツ格相當ナ價格ニ上シテ貰ヘバ、今迄ノヤウナ朝鮮米ノ殺到狀態ハ少クトモ消エテ行ク、斯ウ云フコトニナルノデス、ソレガ爲ニ賣レスト拓務大臣ガ御心配ニナラヌデモ宜シイ、相當ナ價ナリ、相當ナ格デ賣レル、内地米ヲ壓倒シテ賣レルト云フヤウナ狀態ニナラウト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ前ノコトハエライ簡單ニ御片付ニナッタガ、朝鮮總督府ノ官僚ニシテ宣傳ヲスル、朝鮮ハ騒イダ、自然騒イダト私ハ考ヘテ居ルガ、何人カマ示唆シタト御考ニナッテ居ルカ、

伺ッテモ迂闊デ分ラヌト仰シヤレバ分ラヌガ、人ノ身ノ上ヲ爬羅剔抉シテ、許スヲ以テ直シトスルコトヲ屑シトスル者デアアリマセヌガ、サウ云フコトガアッタト云フコトハ、確ニ牢記セラレルコトガ本當デアル、官名ヲ麗々シク書イタ宣傳書ト云フカ、公文書ト云フカ、參ッテ居ルト云フコトヲ知ッテ居ル、ソレ以上ハ申上ゲマセヌ、ソコラ邊リニ止メテ置キマスガ、中央政府ノ政治意見ニ反對シタ運動ヲスル者ガアルト云フコトハ、大ニ戒シムベキコトデアル、所謂階前萬里デ、東京ノ官廳ニ居ラレテハ分ラナイカモ知レナイガ、東京市内ニサヘ其手紙ガ來テ居ルト云フコトヲ附加ヘテ申上ゲテ置キマス、餘リ追窮致シマセヌ

次ニ拓務大臣ニ私ハ承ッテ置キマス、昨年ノ問題ニモ上ツタコトデアリマスガ、一體米ノ如キモノハ、内地ノ不足ヲ朝鮮臺灣ヲシテ補ハシムルト云フコトハ、當然ノコトデアアルガ、段々米ノ耕作地ガ擴ガツテ、北鮮マデ參ッテ居ル、遂ニ長白山ヲ越エテ滿洲マデ行ッテ、朝鮮ノ移民ガ澤山米ヲ作ッテ居ル、是ハ間違ナイコトデアリマス、滿洲ニ於ケル米ノ問題ハ、先日拓務大臣カラ御意見ヲ聽イテ、成ルベク其地方、若クハ日本ニ關係ナイ所ニ用ヒシムルト云フコトデ宜シイ

ノデアリマスガ、一體朝鮮人ハ米ヲ食ハヌ
ノデアリマス、米ヲ食ヘバ、第一腹ガ空ル、
腹ガ空レバ、ソレガ消化シテ養分ニナルノ
ダカラ宜シイヤウデアアルガ、腹サヘ空ラナ
ケレバ宜イヤウニ、滿人モ朝鮮人モ考ヘ、テ
居ル、米ヲ食フト、三杯食フノ二杯ニシ
タヤウニ考ヘテ居ル、一體植民地及ビソレ
ニ類似スル所ニ於テハ、内地ニ同化サセル
ト云フコトヲ第一ニ拓務大臣ハ考ヘナケレ
バナラスト思ヒマス、同化ノ第一ハ、先ヅ
衣食住ヲ近似サセルコトガ必要デアルト思
フ、然ルニ内地人ノ如ク、米ヲ食フ蟲ト自
ラ稱ヘルガ如キ米ヲ食フ人間バカリデナ
イ、中ニモ滿洲人ノ如キハ、米ヲ食ヘバ腹
ガ空ルバカリナラバ宜イガ、米ヲ食フト病
氣ヲスルト云フコトガ到ル處ニ言ヒ傳ヘラ
レテ、米ヲ食フコトヲ避ケル、朝鮮カラハ
千萬石モ内地ニ移出スル、朝鮮ニ於テハ成
程米ノ需要ハ増シテ居ルガ、朝鮮ノ住民ガ
皆米ノ嗜好ヲ持ッテ居ラナイ、殊ニ滿洲ニ於
テハ盛ニ米食ヲスルト、病ニ冒サレト云
フコトガ知レ渡ッテ居リマス、是等ニ付キマ
シテハ、拓務省ノ任務モ色々アリマセウ、
アリマセウガ同化ト云フコトノ一ツト致シ
マシテ

〔委員長退席、出井委員長代理著席〕

又米ト云フ重大產物ヲ消化サセル上ニ於
テ、餘リニ小サイ問題デハアリマスガ、如
何ナル方針ト如何ナル方法ヲ以テ、是等朝
鮮人ニ米ヲ用ヒシメ、内地人ト少クトモ食
物ガ近寄ッテ來ル、滿洲ニ於テモ同様ナコト
ヲサシテ行カレル考デアアルカ、此點ニ於テ
モ、是ハ拓殖事業ト同時ニ米ノ問題、農業
ノ問題デアリマスガ、兩大臣トモ御考ガア
リマスレバ、承ッテ置キタイ

○出井委員長代理 暫時委員長ノ職務ヲ代
行致シマス

○永井國務大臣 只今清家君ガ御話ニナリ
マシタ通り、朝鮮人ガ次第ニ米食ヲスルヤ
ウニナリマスコトハ、政府トシテ希望スル
所デゴザイマス、種々ナル意味ニ於テ米食
ノ慣行ガ擴ガッテ行クコトヲ希望致シテ居
リマス、併シ今日ノ朝鮮人ノ經濟狀態ニ於
キマシテ、粟デ生活スル方ガ米ヨリモ遙ニ
安イト云フコトノ爲ニ、中々彼等ハ其粟ヲ捨
テ、米ニ移ルト云フコトガ容易デナイノ
デゴザイマス、今日御承知ノ通り朝鮮人ハ
相當多量ノ粟ヲ用ヒテ居リマスガ、追々經
濟狀態ノ變化スルニ伴ヒマシテ、米食ニ移
ル傾向ハアリマス、併シ今之ヲ政府ガ特ニ
強制シテ米食セシムルト云フヤウナコト
ハ、出來得ナイノデアリマスカラ、吾々ガ

希望スル程迅速ニ米食ノ慣行ハ擴大シナイ
ノデアリマス、併シ朝鮮デ米ガ多ク消化サ
レテ行クコトハ、内地ニ於ケル米ノ供給ノ
上ニモ好結果ヲ來スノデアリマスカラ、出
來ルダケソレハ獎勵スルヤウニ致シタイト
思ヒマス、此度米穀統制法ノ中ニ、粟ニ對
シマシテ、必要ニ應ジテ、其輸入ヲ或ハ禁止
スルコトモ出來、或ハ増稅スルコトモ出來
ルト云フコトヲ定メマシタ趣旨モ、亦一ツ
ハ其處ニ存シテ居ル次第デゴザイマス

○清家委員 ソレハ昨年ノ米穀調査委員會

ニ於キマシテモ、高粱粟ニ對シマシテ輸入
稅ヲ課ケラレルヤウニ希望ヲ致シマスル
シ、法文ノ上ニハ現ハレナカッタガ、決議案
ノ中ニ少クトモアッタ譯デアリマスガ、ソレ
ニ付キマシテ、果シテ米ヲ多ク用ヒ、雜穀
ヲ廢止スル、全然廢止トモ言ヘマスマイガ、
事ニ依ッテハ相當ノ稅金ヲ課ケナケレバナ
ラヌガ、ドウ云フ賦率ノ稅金ヲ課ケラレル
カ、吾々ハ此内地米ノ過剩ノ場合ニ、尙ホ
何百萬石ト以フ外米ノ輸入ヲ見テ、可笑シ
イコトダト思ッタ時代モアリマシタガ、是ハ
鮮臺ニ輸入スル外米デアリマス、朝鮮及臺
灣ノ、先ヅ米嫌ヒトハ申セマスマイガ、米
ニ對スル大ナル嗜好ヲ持タナイ所ノ者モ、
尙ホ蘭貢米、暹羅米、西貢米ト云フヤウナ

モノヲ輸入スルノハ、全クソレハ價格ノ點
ニ屬シテ居ルノデアリマスガ、ソレ等ニ對
シマシテ、朝鮮米ヲ食ッタガ宜イ、臺灣米ヲ
食ッタガ宜イト云フ程度マデヤラレル決心
ヲ有ッテ居ラレマスカ、ソレトモ從來ノ生溫
イ儘デ放任セラル、積リデアリマスカ、有
效程度マデ達シナケレバ法案ハ無用デア
ル、少々ノ稅金ヲ取ッテ赤字埋メノ一助ニ
シヨウト云ッテ、マダ特別會計ニナラヌカモ
知レマセヌガ、サウ云フ程度デハ私ハイカ
スト思フ、斯ウ云フ點ニ付テハ、農林大臣

拓務大臣ハ餘程考慮セラレテ居ルベキモ

ノト思フ、是ガ内地ニ禍ヲシナケレバ、吾
吾知ヲ又顔、風馬牛、關セズ焉デ濟マセマ
スケレドモ、現ニ内地米ヲ壓迫シテ、斯ウ
云フ統制法モ出來テ來レバ、或ハ專賣法モ
高唱シタリシナケレバナラヌヤウナコトニ
相成ッテ居リマス、内地產業ノ死活ノ問題デ
アリマスカラ、私ハ是モ御尋シテ置カウト
思フノデアリマス

○永井國務大臣 清家君ノ御話ノヤウニ、
朝鮮ニ於テ米食ガ出來ルダケ廣ク行ハレマ
スルコトハ、是ハ御話ノ通り内地米ニ對ス
ル影響カラ考ヘマシテモ、朝鮮人自身ノ榮
養上カラ考ヘマシテモ願ハシキコトデアリ
マス同時ニ、吾々ハ此度ノ米穀統制法ノ

中ニ現ハレテ居リマスルヤウニ、從來ノ農
林省ヲ通ジテ行ハレテ居リマシタ數量ノ統
制ヲ徹底セシムル爲ニ、色々ナル補助ノ方
法ヲ此度講ズル次第デアリマス、其先ヅ第
一ノ手段ト致シマシテ、米其物ノ數量ノ統
制ヲ試ミマシテ、此度ハソレヲ出來ルダケ
效果的ニ、且ツ徹底的ニ行ヒタイト云フ考
デ、色々補助ノ方法ヲ講ジマスノデ、相當
多量ニ——從前ニ較ベレバ非常ニ多量ノ數
量ノ統制ガ出來ルト思ヒマス、併ナガラ其數
量ノ統制ヲ行ヒマシテモ、尙且ツ十分ノ效
果ヲ擧ゲ得ナイカモ知レナイ、サウ云フヤ
ウナ場合モ亦考慮致シマシテ、第二段ノ方
法トシテ、必要ニ應ジテ、只今御話ノ粟、其
他ノ雜穀ニ對シテモ、或ハ關稅ニ依リ、其
他ノ方法デ之ヲ法律的ニ統制的ニ制限スル
ト云フコトモ行フノデアリマス、效果ヲ擧
ゲルヤウナ方法ヲ講ズル點ニ於キマシテ
ハ、十分研究致シテ居ル次第デゴザイマス
○清家委員　モウ私ハ長イ質問ヲ致シマシ
テ、他ノ同僚諸君ノ時間ト云フ持物ヲ奪フ
コトハ忍ビマセヌカラ此程度デ措キマス
ガ、結局數量論ガ價格論ニ進マナケレバ、
本當ノ數量調節ト云フモノハ出來ナイト云
フコトハオ分リニナッテ居ルダラウト思ヒ
マスガ、不當ニ今日ノ如ク安ケレバ、如何

ナル方法ヲ以テモ、如何ナル罰則ヲ以テモ
入ッテ來ベキモノハ、丁度昨年來ノ金ノ輸
出ヲ禁止シテモ、如何様ニシテモ灣ッテ上海
邊リヘ金ガ流れ出ルト同ジコトデ、輸入輸
出共ニ是ハ其處ガ價格ノ問題ニ歸シマス、
價格ノ問題ハ統制ノ最モ捷徑ト云フコトヲ
先日カラ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、此
點ハ私ハ此質問ヲ打切ルニ臨ミマシテノ置
土產ト致シマシテ、結局アナタ方モ早ク數
量問題ヨリ價格問題ニモウ一遍才還リナサ
イ、原サン時代ニハ價格問題ニアラズ數量
問題デアルト原サンガ喝破シテ、大ニ全國
民ニ衝動ヲ與ヘタモノデアリマスガ、今日
ニ數量問題ヨリ價格問題ニ還ラザルヲ得ナ
イ時代ニナッテ居ルト云フコトヲ置土產ニ
致シマシテ、是デ私ハ質問ヲ暫時打切りマ
ス
○河野委員　拓務大臣ニオ尋致シマス、先
日拓務大臣ノ御答辯中ニ、拓務省ハ朝鮮總
督府ヲシテ米穀統制法案ヲ更ニ有效ニ徹底
セシメル爲ニ、自給自足ノ施設ヲ御立デニ
ナッテ居ルト云フコトデアリマシタガ、其自
給自足ノ方策ヲ御立案ニナリマスニ當リマ
シテ、如何ナル數字ヲ基礎ニシテ其計畫ヲ御
立デニナリマシタカ、ソレハ昨日吾々ノ手
許ニ朝鮮ニ於ケル米穀需給推算調ト云フモ

ノヲ御配付ニナッタノデアリマスガ、此通り
ノ數字ニ依ッテ其施設ヲ御立デニナッテ居ル
カ、ドウカト云フ御尋ヲ致シタイノデアリ
マス——モウ一遍申上ゲマス、昨日朝鮮總
督府ヨリ吾々ノ手許ニ朝鮮ニ於ケル米穀需
給ノ推算調ト云フモノヲ御配付ニナッタノデ
アリマス、此調査ニ基イテ先日拓務大臣ノ
政策ノ徹底ヲ期スル一助トシテ、今度議會
ノ協賛ヲ經ヨウトシテ居ル其需給調節ノ施
設ハ、此數字ヲ基礎ニシテ御立デニナッテ
居ルノカ、乃至ハ更ニ別ノ朝鮮總督府ニハ
一ツノ米穀需給推算調ガアッテ、ソレヲ基礎
ニシテ御立デニナッテ居ルノカ、何レカラ御
尋シタノデアリマス
○永井國務大臣　只今御尋ノコトハ殖産局
長カラ御答スルコトニ致シマス
○北島政府委員　差上ゲマシタ表ハ實ハ此
前ノ前ノ委員會デアリマシタカ、明日マデニ
朝鮮ノ需給推算ノ調ヲ出セト云フ御註文デ
アリマシタカラ、其場デ大體御約束ハ致シテ
置キマシタガ、實ハ最近ノ實績ニ基イテ表
ヲ拵ヘマスコトニナルト、中々ノ手數ヲ要
シマシテ、一寸御約束ノ翌日マデニ提出ガ
出來ナカッタ、ソレデ差當リ朝鮮產米増殖計
畫樹立當時ニ於ケル、需給推算ノ表ヲ、御

手許ニ差上ゲタ次第デアリマス
○河野委員　一寸調ガ出來ヌト云フ御答辯
ノヤウデアリマスガ、サウ云フ馬鹿ナモノデ
ハナイ、今度政府ガ提案ニナル朝鮮ノ米穀
需給ノ色々資金ヲ運用スルトカ、倉ヲ造ル
トカ云フヤウナコトヲヤラウトスルニハ、
當然朝鮮ニ於テハドノ位ノ米ガ出來テ、ド
ノ位内地ニ行ッテ、ドノ位ニナルカラ、ソレ
ヲドウ云フ風ニ金融ヲスルトカ、倉ヲ建テ
レガナクテドウシテ計畫ヲ立テルノデアリ
マスガ、其推算調ガ別ニアルナラバ、其調ガ
手許ニナイ筈ハナイ、此調ニ依ッテヤッタノナ
ラ此調デ宜シイ、而モ吾々ガ今重大ナル此
法案ヲ審議スルニ當ッテ、朝鮮總督府ノ調ヲ
吳レト云ッテ御尋シタラ、斯ウ云フモノヲ
吾々ニ配ッテ置イテ、此外ニアルナラバ何故
ソレヲ出サナイ、而モソレガナシト云フニ
至ッテハ、實ニ吾々ハ無責任極マルモノト思
ヒマス
○北島政府委員　最近ノ實績ニ基イテ表ヲ
拵ヘマスルニ付テハ、一寸一日ヤ二日デ出
來兼ネタ次第デアリマシテ、ソレデ差當リ
手許ニアリマシタ書類ヲ差上ゲタ譯デアリ
マスガ、此差上ゲタ表ハ、現在ノ實績ト非
常ナ違ヒガナイヤウデアリマスシ、大體ニ

於テ趨勢ヲ知ルニハ是デ差支アルマイ、ソレカラ農林省カラ差上ゲマシタ内地ニ於ケル需給推算ノ表モ、矢張是ト大體同様ノ表ガ提出ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、ソレデ至急取敢ヘズ差上ゲタイト思ヒマシテ、一應此表ヲ御手許ニ配付シタ次第デアリマス

○河野委員 サウ致シマスト、是ヨリ他ニ何カ需給推算調ノ表ガ只今アルノデスカ、ナイノデスカ

○北島政府委員 拓務省自身ノ手許ニハアリマセヌ、ソレデ朝鮮總督府ニ照會スル必要ガアリマスノデ、ツイ二三日前御話ト同時ニ向フノ方ニ照會中デアリマス、何レ近イ内ニ提出ガ出來ルドラウト思ヒマス、併シ大體ニ於テ今度差上ゲマシタ表ト、大差ハアルマイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 サウ致シマスト、先日拓務大臣カラ御答辯ノ、サウ云フ計畫ヲ立ッテ、ソレヲ拓務省ニ之ヲ出シタイト云フコトデ、朝鮮總督府カラ持ッテ來タ、ソレガ妥當ナリヤ否ヤト云フコトヲ調ベルノニ、何等ノ基準ナシニ計數ナシニソレデ是ガ宜シイ、サウ云フ施設デ宜シイト云フコトヲ拓務大臣ハ御決メニナルノデアリマスカ、

其點ヲ伺ッテ置キマス

○永井國務大臣 朝鮮總督府ノ方デ、今計畫シテ居リマスル米穀統制法ヲ徹底サセル爲ノ補助機關ノ問題ハ、是ハ從來農林省ガ買上ゲテ居リマシタ、其他ニ此度米穀統制法ガ實施サレルト云フコトニナッテ來マスレバ尙ホ大規模ノ朝鮮米ノ數量統制ヲ行フト云フ必要ガアルコトハ明瞭ナノデアリマスカラ、ソコデ朝鮮自體ノ力デ其米穀統制法ノ實施ヲ補助スル意味デ、出來ルダケ大規模ノ貯藏ノ方法ヲ講ジタイト云フ考デ、今其ノ計畫ヲ立テ、居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、申上ゲル迄モナク、年々朝鮮カラ内地ニ入ッテ來マス米ノ數量ハ、大體ニ於テ分ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ出來ルダケ季節的ニモ調節シテ行ク爲ニハ、ドウシテモ從來ヨリハ、モット大規模ノ貯藏ノ方法ヲ講ジナケレバナリマセヌカラ、ソコデ或ハ倉庫ヲ設立シマストカ、或ハ野積ノ方法ニ依ルトカ、或ハ朝鮮ノ地方ノ自治體ヲシテ貯藏セシムルトカ、色々ナ方法ヲ講ジテ出來ルダケ多量ノ數量ノ調節ヲ行ハナケレバナリマセヌノデ、其實際ノ方法ニ付テノ研究ヲ今致シテ居ルノデアリマス、今日迄ノ其標準トナルベキ數量ハ、只今大體ニ於テ其御手許ニ出マシタ從來ノ

需給關係ノ數字トカ、或ハ年々朝鮮カラ内地ニ入ッテ來マス米ノ數量、サウ云フヤウナモノヲ基礎ト致シマシテ、貯藏機關ノ基準ヲ定メヨウトシテ居ル次第デアリマス、併シ是ハマダ其計畫ガ完成シテ居リマセヌ、隨テ豫算トシテマダ御審議ヲ願フト云フ所ニハ達シテ居リマセヌガ、サウ云フヤウナ方法デ今效果ヲ舉ゲル爲ニ調査ヲ致シテ居リマス

○河野委員 時間モアリマセヌコトデアリマスカラ、質問ノ點ニダケ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、率直ニ質問ヲ致シマス、此表ハ古イノデアアルガ、併シ之ニ於テ趨勢ガ分ル、大體ニ於テ之ニ依ッテヤッテ居ルト云フコトデアリマスカラ、更ニ質問ヲ致シマスガ、此表ト農林省カラ吾々ガ戴キマシタコチヲノ將來五箇年間ニ於ケル米穀推算需給概算ト云フ表ト、此表ノ二ツノ間ニ於テ、——朝鮮總督府ガ基準ニシテ居リマス此表ニ依リマスト、昭和九年度——此米穀統制法案實施ノ初年度ニ當ッテハ朝鮮カラ來ル米ハ七百五十一萬石ニナッテ居ル、所ガ農林省ノ方デハ之ヲ六百九十一萬一千石來ルコトノ計算シテ居ルノデアリマス、第二年度ニ於テハ、拓務省ノ計算ハ七百九十五萬九千石來ルコトニナッテ居ル、一方農林省デ

ハ七百二十一萬、何レモ此間ニ於テ六十萬石、七十萬石ノ喰違デアアル、斯ウ云フ一體調ベヲ以テ、斯ウ云フ計數ヲ基礎トシテ農林省ト拓務省トノ間ニ於テ、朝鮮米ノ議論ヲスルカラ喰違ガ起ッテ來ル、拓務大臣ノ觀念ガ斯ウ云フ古イ昭和二年ノ人口食糧調査會ノ時ノ斯ウ云フ數字ヲ以テ大體趨勢ニ誤リナシト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ラレルカラ、朝鮮米ニ對スル對策ガ根本カラ違ッテ來ルノデアリマス、一體何故ニモウ少シ農林大臣モ拓務大臣ト、セメテ政策ノ違ヒハ別トシテモ、數字ノ打合セ位何故十分ニ爲サラナイノデス、一體此米穀統制法案ヲ實施シタラ、來年度ハドノ位米ガ入ッテ來ルカ、農林省ハ斯ウ見ルガ、オ前達ハドウカ、乃至ハ拓務省ハ更ニ責任ヲ以テ朝鮮ノ產米計畫其他ヲ考慮シテ、吾々ノ方ハ斯ウ云フ數字デアアル、此數字ハ間違ナイカラ、農林省モ之ニ基イテ政策ヲ樹テロト云フコトヲ何故オ遣リニナラナイノデス、吾々ノ最モ主張スル眼目ハ朝鮮米ガドウナルカト云フコトデ、是ガ一番内地ノ米價ニ繫ッテ重大ナ問題デアリマス、然ルニ其根本ノ計數ガ違ッテ居ル、計數ニ對スル觀念ガ違ッテ居ッテハ共ニ議論スルダケノ根據ガナイト思ヒマス、之ニ對スル所見ハ如何デス

○荷見政府委員 私ノ方カラ差上ゲマシタ

需給推算ノ關係ダケヲ私カラ申上ゲマス、是ハ米穀部ト致シマシテハ、色々ナ推算ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、其全部ヲ拓務省ノ方ト御打合セスル程ノ時間ヲ持ッテ居リマセヌデシタ、ソレカラ拓務省デ御出シニナツトハ、私ハ實ハ今此處デ拜見シテ居ルノデアリマシテ、詳細ニ見ル時間ハゴザイマセヌガ、是ハ私ノ方カラ此前參考資料ノ一ツトシテ御覽ヲ願ヒマシタ、昭和二年ニ調べマシタ將來三十年間ニ於ケル米麥各年需給豫想ト云フノニ入ッテ居リマスル數字ト、拓務省ノ方カラ昨日御出シニナリマシタ朝鮮ニ於ケル米穀需給推算調ト云フノハ、是ハ相一致スル數字ノヤウニ私ハ只今拜見致シテ居ルノデアリマス、此數字デゴザイマスレバ、私共米穀部ト致シマシテハ、先般御手許ニ差上ゲタ筈デアリマシテ、其數字ヲ決シテ否定致シテ居ル譯デハゴザイマセヌ、サウ云フヤウナ見方ニ依ッテ、推算ヲ致シタモノモアルト云フコトハ、是ハ米穀部ト致シマシテハ考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ只今昭和二年ノハ、前ノ大正八年開墾助成法制定當時ニ作ッタモノヲ訂正シタノデアリマス、ソレデ最近五箇年間ノ

モノヲ出セ、此前昭和二年ニ作ッタモノデハ宜シクナイト云フ御話デアリマシテ、此昭和二年ニ作ッタモノハ、總督府カラ詳細ナル根據ノアル數字ヲ取ッテ作ッタノデアリマシテ、勿論相當ナ時日モ費シタモノデアリマスカラ、ソレヲ訂正スルト云フ意味合デハアリマセヌノデ、私共ノ方ハ最近五箇年ノ實績ヲ參酌シテ、參考資料ノ一トシテ作レバ斯ウ云フモノデアリマス云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマスカラ、此點ヲ一ツ御諒承置キヲ願ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 農林省ノ調べタモノト拓務省ノ調べタモノトノ間ニ喰違ガアルト云

フコトデ、大變御非難ガゴザイマシタガ、今米穀部長カラ申上ゲマシタヤウニ、農林省ノ方カラ御手許ニ差上ゲタ五箇年間ノ推算ハ、過去ノ五箇年ノ實績ニ徴シテ、極ク近い過去ノ現實ヲ抑ヘテ將來ヲ推算シテ見タノデアリマス、大體現實ヲ抑ヘテ將來ヲ推測シマスレバ、農林省ノ調べタヤウナモノガ差當リ用ヒル計數ノ基礎ニナルベキモノデアラウト思フノデアリマス、拓務省ニ於カ

レテ實際ノ計畫ヲ進メラレル時ニ於キマシテハ、大體ニ於テサウ云フ所ニ一致シテ參ルモノデアラウト思ッテ居ルノデアリマス、唯拓務省ガ御出シニナツタ數字ハ、今御説明

ノアッタヤウニ間ニ合ハナイノデ、過去ノ調ノアッタモノヲ御出シニナツテ居ルノデアリマスカラ、御非難ノアル所ハ尙ホ當局者間ニ於テ飽迄モ能ク協調ヲ取ラナケレバナラスコトハ尤モダト思ヒマス、サウ云フ積リデ今後モ努力致シマス

○河野委員 拓務大臣ハ如何デアリマス、

此數字ニ依ッテ、此趨勢ヲ大體間違ナシトシテ米穀政策ヲオ造リニナツテ居ル、デ詳シイモノハ朝鮮總督府ヘ行カナケレバナイ、拓務省ニハ只今ナイト云フコトデアリマスカ

ラ、サウ致シマスルト、從來拓務大臣ノ米穀問題ニ對シテノ御考ハ、何時デモ此數字ヲ基礎ニシテオ造リニナツテ居ルト云フコトニ吾々ハ解釋致シマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○永井國務大臣 只今農林大臣カラ御答ガ

アリマシタヤウニ、農林省モ拓務省モ、常ニ協議シツ、出來ルダケ外地ノ現狀ニ付キマシテモ正確ナ基準ヲ求メテ、サウシテ其基準ニ依ッテ有效ナル政策ヲ樹テタイ、斯ウ思ヒマス、此數字ハ實ハ私モ是ガ提出サレタノヲ存ジマセヌデアリマシタガ、古イ數字シカナイトスレバ、新シイ正確ナル數字ヲ持ッテ居ルモノト力ヲ協セテ、サウシテ出來ルダケ政府トシテハ完全ニシテ行キタ

イ、ソコデ農林省ト拓務省ガ益、協議ヲシテ行ク必要ガ起ル、私ハ何モ一ツノ數字ニ拘泥スル必要ハナイト思ヒマス、是ハ矢張農林省ニモ來テ居ルガ、唯其數字ノ年限ガ違フ、ソコデ數字ノ喰違ガ現ハレテ居ルノデアリマセウガ、出來ルダケ各方面カラ正確ナル材料ヲ求メマシテ、ソレヲ綜合シテ、ソコニ立法ノ基準ヲ求メル、政策ノ基準ヲ求メルト云フ方針デゴザイマス

○河野委員 色々御辯明ハアリマスガ、結

論トシテ拓務省ニハ朝鮮ニ對スル米ノ數字ハナイト云フコトニ承知シテ宜シイカ、ドウカ、朝鮮ニ對スル米ノ數字ハ田中内閣ノ人口食糧調査會ノ時ニ作ッタ此數字以外ニハ拓務省ニハナイ、農林省ハ現實ノ數字――最近五箇年ナラ五箇年ノ實際ノ基礎ニシ

タ數字ヲ年々作ッテ置クノガ當然デアリマス、農林省ガ斯ウ云フ數字ヲ持ッテ居ルノハ當リ前デアル、ソレヲ拓務省ガ朝鮮、臺灣ノ米ヲ自分ノモノ、ヤウナ顔ヲシテ、兎ヤ角從來言ッタガ、ソレハ何ノ數字ノ基礎モナシニ言ッタノデアルト云フコトニ承知シテ差支ナイカドウカ

○永井國務大臣 農林省ノ持ッテ居ル數字モ常ニ利用スルノデアリマス、又拓務省自體ノ持ッテ居ル數字モ利用シ得ルモノハ、之

ヲ利用シマス、ソレハ朝鮮總督府カラ或ハマダ到著シテ居ナイモノモアルカモ知レマセヌガ、決シテ拓務省ハ拓務省デ拵ヘタ數字デナケレバ使ハナイト云フ狭イモノデハナイ、政府部内ニ於テ凡ソ利用シ得ル材料ハ全部之ヲ利用スル、斯ウ云フ考デ居リマス

○河野委員 ソレナラバ農林省ガ斯ウ云フ數字ヲ出シタ、此數字ト同ジ數字ガ何故拓務省ニナイ、拓務省ニ若シ農林省ガ出シタ此數字ガアレバ、斯ウ云フ昭和二年ニ作ッタモノヲ、今更昭和七年ニ吾々ノ所ニ出サナイデモ宜イ、此數字ハ先程米穀部長カラ示サレタガ、立派ニ農林省ガ印刷ニナッテ、古イ印刷物ノ中ニ入ッテ居ル、斯ウ云フモノヲ今更拵ヘテ吾々ニ配ラナクトモ、農林省ニ行ケバ立派ニ此數字ハアルノデアリマス、拓務省ノ持ッテ居ル數字ナラ吾々モ同ジモノヲ持ッテ居ル、農林省ニハ朝鮮カラ移入シタ米ノ數字ガ來テ居ル、朝鮮デ幾ラ米ガ出來ル、其米ヲ朝鮮人ガ幾ラ食ッテ、其餘ル數量ガ内地ニ來ルノデアアル、其農林省カラ出デ居ルモノ、計算ノ基礎ガナケレバナラヌガ、恐ラク今朝鮮總督府カラ御取リニナッテモ、是同ジ數字ハ出デ來ルデアリマセウ、少クモ朝鮮總督府カラ來ル數字ハ朝

鮮デ一年幾ラ米ガ出來テ、將來ドレダケ出來ル豫想ガアッテ、ソレヲ朝鮮デ幾ラ食ッテ、其残りガ幾ラアッテ、ソレガ内地ニ幾ラ入ッテ行クカト云フ數字ガ出デ居ル筈デアアル、ソレハ朝鮮ヲ統治スル所ノ朝鮮總督府竝ニ拓務省ニナケレバナラナイ、其數字ヲ基礎ニシテ農林省ガ纏メテ、内地ノ米穀政策ヲ確立スルノガ順序デアリマス、拓務省ガ朝鮮ノ數字マデモ農林省カラ聽イテ居ル、例ヘバ私ハ神奈川縣デアリマスガ、神奈川縣ノ縣廳ガ神奈川縣ノ米ノ需給推算ガ分ラナイ——神奈川縣ノ米ノ數字ヲ農林省カラ聽カナケレバ分ラナイヤウナ、馬鹿ナ地方長官ハ何處ニ行ッテモアリマセヌ、拓務大臣ガ自分ノ管轄デアアル朝鮮カラドレダケノ米ガ出來ルカ、ドウ云フ計算ニナッテ居ルカ、農林省カラ聽カナケレバ分ラナイ、農林省ノ數字ヲ以テ自分ノ所ノ數字ノ基礎ニシテ計算ヲ立テルト云フコトデ、ドウシテ拓務大臣ガ一體勤マルカ、而モ話ニ聞ケバ、先程マデハ大體趨勢ニ誤リハナイカラ、此趨勢デ行ッテ居ルト仰シヤッタ、少クトモ農林省ノ數字デハ朝鮮デ一年二月別ノ季節調節ヲスルノハ百三十萬石ト此間カラ御答辯ニナッテ居ル、此百三十萬石ノ數字ノ中デ、而モ數字ガ六十萬石、七十萬石モ違ッテ居ッ

テ、ドウシテ米ノ統制ガ出來マスカ、ドウシテ一體今度議會ニ御出シニナッタ法案ヲ御實行ニナル積リデアアルカ、其位ノ數字ガ拓務省ニ無クテ、ドウシテ米ノ調節ガ御ヤリニナレマスカ、内鮮一視同仁トカ云フ御議論ハ、實ニ傾聴ニ値シマスガ、斯ウ云フコトデハ薩張分ラナイ、少クトモ政策ヲ御立テニナル際ニハ、數字ヲ基礎ニシテ御立テニナラナケレバ駄目ダト思フ、ソレヲ田中内閣ノ時ニ作ッタ數字以外ノモノハ、拓務省ニハ無い、ソレデ是非欲シイト云フト、朝鮮ヘ今電報ヲ打ッテ取寄セ中デアルト云フヤウナコトデ、一體ドウシテ審議ヲ進メルコトガ出來ルト思ヒマスカ、御意見ヲ伺ヒマス

○北島政府委員 繰返シ此前モ申上ゲマシタ通り、御手許ニ差上ゲマシタノハ、丁度農林省カラモ、是同様ナモノガ御配付ニナッテ居リマス關係上、此前出スト云フ御約束ヲシタ關係上、同ジ物ヲ出シタ方ガ宜イデアラウト云フノデ、提出シタ次第デアリマス、ソレカラ農林省ノ最近ノ五箇年ノ移入數量ニ基イテ推算シタ表ヲ提出サレタ次第デアリマスガ、農林省ニハ朝鮮米ガ幾ラ入ルカト云フコトハ、無論拓務省ヲ通ジテ、朝鮮總督府カラ提出ヲシテ居ルノデアリマ

スカラ、過去ノ實績ハ、無論拓務省ト致シマシテハ、十分承知致シテ居リマス、唯ソレヲ過去ノ數字ノ五箇年ヲ基礎トシテ、將來ノ需給推算ヲ樹テルニ付テハ、ソレ相當ナ見方モアリマスシ、拓務省トシテ又大ニ考ヘナケレバナラヌ點モアリマスノデ、ソレハ一日ヤ二日デ直グ出來マセヌカラ、取敢ヘズアレヲ差上ゲテ置イタ次第デアリマス

○白神委員 私ハ本日ハ七項程ニ分ケテ質問ヲシヨウト思ッテ居タノデアリマスガ、只今ノ朝鮮、臺灣、即チ拓務省ニ關スル問題ニ付テハ、多少私ハ他ノ人々ト質問ノ趣旨ガ違ッテ居リマスカラ、先ヅ茲ニ承ラントスルノデアリマス、今河野君カラノ質問ニ對スル御答ハ甚ダ矛盾デ、私ガ本會議ニ於テ、實ニ此案ハ不徹底デアルト云フコトヲ前提ニ置イテ申上ゲタコトガ、茲ニ現レテ居リマス、此數字ハ朝鮮ト内地、即チ朝鮮ノ調ト農林省ノ調ベト、同ジ政府ノ下ニ於テ相違シテ居ル、此統制案ニ同意セラレタ兩相ガ其處ニ居ラレテ、サウシテ茲ニ數字ノ間違ガ出テ、答辯ニ非常ニ御苦シミニナッテ居ルコトハ、頗ル遺憾ニ存ズルノデアリマス、私共ノ聞及ンデ居ル所ニ依リマス、審議會、或ハ其他ノ重要ナル會議ニ於テ、

此統制案ヲ御出シニナル前ニハ、朝鮮臺灣

ノ二ツノ米ヲ統制スレバ、隨テ内地ノ米モ

騰貴シテ來ル、朝鮮ト臺灣ノ二ツヲ統制シ

タラ宜イト云フコトハ、政府ノ方ニモ相當

有力ナル案トシテ有ッテ居ラレタ、所ガ之ニ

對シテ朝鮮總督府ナリ、拓務省ノ方ガ非常

ナル反對ヲシタ、其反對ノ趣旨ハ朝鮮人ヲ

特殊扱ヒニスル、臺灣人ヲ特殊扱ヒニスル

ト云フ意味デアッタラシカッタガ、ソレハ非

常ナ運動デ、多クノ人ガ東京ヘ乘込ンデ來

ル、又相當ナル朝鮮ニ於ケル米ノ關係ノ人

及ビ財界ニ於ケル有力者ガ旗ヲ持ッテ先頭

ニ立ッテ見エタ、是等ノコトハ吾々モ、聞及

ンデ居ル、所ガ吾々カラ考ヘテ見マス、

ヲ宣揚シタモノハ、朝鮮總督及ビ拓務省ノ

方ノ履違ヒノ考ノ上カラ、斯ウ云フヤウナ

コトニナッタデアリマシテ、此統制案ト云

フモノハ、甚ダ不徹底ナモノデアアルデア

リマス、斯ウ云フコトヲ識者モ言ッテ居リ

マスガ、此點ニ付テノ農林大臣及ビ拓務大

臣ノ御所見ヲ承リタイ

○後藤國務大臣 今回ノ新統制調節案決定

ノ經路ニ於キマシテハ、色々ナ議論モ出テ

參リマシタ、併ナガラ結論トシテハ臺灣朝

鮮内地全體ヲ見マシテ米ノ需給ヲ調節ス

ル、併ナガラ臺灣朝鮮自身ニ於テハ調節ス

ル必要ガアリマセヌ、隨テ其價格ノ如キモ、

内地ニ於ケル米價ノ公定ニ依ルコトニ致シ

○後藤國務大臣 色々朝鮮臺灣等ノ實情ニ

基ク所ノ話ハ調査會ニ於テ出マシタ、併シ

一般ニ政府ノヤルコトニ反對ヲスルト云フ

ヤウナコトハ、新聞ナドニハ見エテ居リマ

シタケレドモ、吾々ノ耳ニハ直接聞イテ居

リマセヌデシタ

○白神委員 其當時朝鮮ノ多クノ人々、及

ビ其代表者ガ農林大臣ニ直接ニ此問題ニ對

シテ阻止運動ヲシタト云フ事實ガアルカ否

ヤ、之ヲ明確ニ承リタイ

○後藤國務大臣 餘程前、此前ノ臨時議會

ノ前後デアリマシタカ、朝鮮カラ人ガ參ッ

テ、陳情ヲ受ケタコトハアリマス、併シソ

レハマルデ方角ノ違ッタ、全ク誤解ニ基イタ

コトヲ前提トシテ居ラレタノデ、サウ云フ

考ハ此方ニハ無イノデアルト云フコトヲ申

シテ置キマシタ、何カ差別待遇デモスルヤ

ウナ方針ガアルト云フヤウナコトデアリマ

シタガ、サウ云フコトヲスル考ハ有ッテ居

リマセヌト云フコトヲ話シタノニ過ギマセ

ヌ、其後ハ別ニアリマセヌ

○白神委員 私共ガ確ニ承ッテ居ル所ニ依

リマス、サウ云フヤウナ、差別待遇ヲスル

ノデアルト言フヤウナコトハ、非常ナ誤解

デアアルデアリマス、然ルニソレヲ朝鮮臺

灣ノ方デハ、非常ナル差別待遇デアルトシ

テ、多クノ人ガ來テ、而モ激烈ナル言葉ヲ

以テ、若シ左様ナコトヲ政府ガ行フナラバ、

朝鮮ニ於テハ

百旗ヲ立テ、

百姓一揆ガ起ル

カモ知レナイト

言ッタノデ、

農林大臣ハ此案

ヲ變更サレタト

云フ説ガアルノ

デアリマスガ、

是ガ果シテ事實

デアリマスカ、

ドウカ承リタイ

○後藤國務大臣

決シテ左様ナ事實ハアリ

マセヌ

○白神委員

ソレデハ私ハ

拓務大臣ニ一言

承ッテ、而シテ

又再ビ質問ヲ

繼續致シタイト

思ヒマス、拓務

大臣ハ二三日前

ノ委員會ニ於テ、

朝鮮ノ米ニ對シテ、

統制案ニ一層ノ拍

車ヲ掛ケルベク、

之ヲ有效ナラシムルベキ

施設ヲ爲スト云

フヤウナ御話ガ

アリマシタ、倉庫

ノ設備設置等、

萬般ノ施設ヲ是

カラヤルノダト云

フ御話、是ハ洵ニ

結構ナ御話ナノ

デアアル、此前

御話ガアリマシタノハ、

倉庫ノ設備、及

低利資金等ヲ貸

付ケルト云フヤウ

ナ御言葉ガアッタ

ヤウニ思ヒマス

ガ、私今日ハッキ

リ記憶ニ殘ッテ居

リマセヌガ、如何

デアリマスカ、ヤ

ハリ低利資金ト

カ、何トカ云フ

モノヲ之ニ對シテ

御立替ニナルトカ、

サウ云フヤウナ

案モアルノデア

リマスカ、之ヲ

拓務大臣ニ承リ

タイ

○永井國務大臣

此米穀統制法ガ

實施サレ

マスル場合ニ、出來ルダケ之ヲ效果のナラシメタイト云フ考デ、朝鮮ニ於テモ、貯藏、其他ノ方法ヲ現在ヨリハ擴大シタイト云フコトデ計畫ヲ樹テ、居ルノデアリマスガ、同時ニ又米ヲ貯藏スルト云フコトノ爲ニ、資金ノ非常ニ逼迫スルト云フヤウナモノニ對シテハ、ソレニ相應シテ何カ金融ノ方法モ講ジタイト云フヤウナコトヲ今研究シテ居リマス、是ハ其計畫ガ大體纏マリマシテ、豫算ヲ計上シテ御審議ヲ願フヤウニナリマスレバ、モット正確ニ申上ゲルコトガ出來ルト存ジマス、ソレダケノコトヲ先ヅ申上ゲテ置キマス

○白神委員 サウシマスルト、ソレハ唯一ツノ希望デアリマスルカ、今回ノ議會ニ提出セラレテ實行スルト云フ御意思デアリマスルカ

○永井國務大臣 計畫ヲ是非共纏メマシテ、今期議會ニ於テ御審議ヲ願フヤウニシタイト思フデ居リマス

○白神委員 然ラバ農林大臣ニ私ハ承リタイノデアリマスガ、竝ニ關聯シテ拓務大臣ニ承リタイノデアリマスガ、朝鮮ノ方ニ於テハ、ヤハリ今回行ハレル所ノ統制法案ガ實施サレテ、農林省直接ニ之ニ當ラレ、サウシテ一方ニハ此設備萬般及低利ノ金融マ

デモ圖ッテ之ヲ救ハントセラレル、其策ヤ洵ニ吾々ノ贊成スル所デアリマス、デ拓務大臣ハ過般來一視同仁デアルト云フ言葉ヲ屢御使ヒニナリマス、是ハ申スマデモナク差別ノアルベキ筈デアリマセヌ、サウシテ見マスルト、今度ノ統制案ニ付キマシテハ、吾ガ日本内地ノ農民ト云フモノハ、唯其統制案ト云フ一本ニ據ルノミデアッテ、朝鮮總督府ガ御親切ナル設備及低利資金マデモ之ニ貸付ケテ行カウト云フ此案ト、内地ノ案トハ、ドチラガ待遇ヲ受ケルモノデアッテ、ドチラガ偏頗ナ處置ヲ受ケルモノデアルカ、此邊ノ所ハ、私ハ現農林大臣ノ有ッテ居ラレル御考ト、拓務大臣ノ有ッテ居ラレル御考ト、朝鮮農民ニ對スルト、日本内地ノ農民ニ對スルトハ、即チ一方ニハ其設備ニ對シテ補助スル、又ハ低利ノ金デモ貸シテヤル、斯ウ云フノトハ相當ノ差別ガアル、即チ朝鮮ノ方ノ人ハ非常ニ親切ナル救ハレ方ヲスルガ、内地ノ農民ハ唯此統制法案ニ據ルノミデアアル、斯ウ云フコトノ見解ニナルト思ヒマスルガ、先ヅ農林大臣ノ御意見カラ承リタイト存ズルノデアリマス

○後藤國務大臣 朝鮮ニ於キマシテハ、從來ニ於キモ自治的ノ統制ヲ圖ラセル爲ニ、倉庫ノコト、金融ノコト、隨テ保管ノ便宜ヲ圖ルコト等ニ努力ハシテ參ッタノデアリマス、併ナガラソレガマダ今日迄甚ダ不完全デアッテ、内地ニ於キマシテハ御承知ノ通り、從來トモ或ハ米券ノ倉庫ト云フヤウナ、共同倉庫ノヤウナモノニ助成モシ、補助モシ、ソレハ今日モ續ケテ參ッテ居リマス、又米ノ保管等ニ付テモ、各地ニ助成ノ施設ガ行ハレテ居リマス、又其爲メノ農村ヘノ低利資金ノ供給ト云フヤウナコトモ致シテ參ッテ居リマス、今後モ尙ホソレハ段々進メテ參リタイト云フ積リデ居リマス、此點ハ朝鮮ダケ重クヤッテ、内地ダケヤラナイト云フノデアリマセヌ、實ハ朝鮮ニハ今日迄餘リ行ハレテ居ラナイノデアリマス、多少ノコトハアリマシタケレドモ、内地デハ過去カラ相當ニ進歩シテ參ッテ居リマスシ、今日十分トハ申セマセヌカラ、是ハ尙ホ内地ニ於テモ朝鮮ニヤリマスヤウナ事柄ヲ今日以上ニ、段々進メテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、唯朝鮮ノ米ガサウ云フ工合ニ、過去ニ於テハ自治的統制ノ施設ガ十分ニ行ハレナカッタガ爲ニ、著シク季節的ノ内地ニ固ッテ殺到致シテ來ルト云フヤウナ處ガアリマスノデ、是ガ内地ノ米ヲ殊ニ壓迫シテ居リマスカラ、今回ハ朝鮮デ相當有力ニ實行シテ行カウ、斯ウ云フ計畫ヲ立テツ、アルト云フ譯ナノデアリマス

○白神委員 只今ノ御答デアリマスガ、資金問題ニ對シテハ、内地ニ對シテハ低利ヲ以テ之ヲ續ケテ行クト云フ御考ハ有ッテ居ラレマセヌカ

○後藤國務大臣 只今申シタ積リデアリマスガ、有ッテ居リマス、過去ニ於テモヤッテ居リマス、今後モ出來ルダケヤリタイ積リデアリマス

○白神委員 ソレデハ私承リマスルガ、此統制案ノ内容ハ頗ル重大ナルモノデアリ、大キナ計畫デアリマスルガ、今朝鮮ニ於テハ著々ト其實施ニ入ッテ、貯藏米ノ倉庫、總テノ建設セラレントスルト云フコトデアリマスルガ、内地ニ於テハ現在ノ倉庫ト云フヤウナモノデ、果シテ政府ガ目的ヲ貫徹スルダケノ倉庫ノ御調ガ付イテ居リマスルカ

○荷見政府委員 倉庫ノ問題デゴザイマスルカラ、私カラ御答申上ゲマス、先般モ一應申上ゲテ見タノデアリマスガ、大體只今農林大臣モ御話ニナリマシタヤウニ、從來カラ、大正ノ初期カラ獎勵致シテ居リマスル農業倉庫ノ建設補助金、ソレニ對スル低利資金ノ融通ト云フヤウナコトデ、大體發

達シテ居リマス、此農業倉庫ノ收容量ハ只今デハ約一千八百萬俵ノ米ノ收容量ガアリマス、之ヲ石ニ直シマス、約七百萬石位ノ收容量ガアル譯デアリマス、而シテ此事ニ付テハ、近來ニ於キマシテモ、其補助計畫ノ補助金ヲ相當増額致シテ實行シテ居ルヤウデアリマスカラ、益々發展スルモノト思ヒマス、其他ニ商業倉庫ハドレ位アリマスカト云フコトハ、是ハ全國ニ互ッテノ調査ハ全部ハ出來マセヌガ、要スルニ主要米產地、主要ナル米ノ取引ノ行ハレマスル所ノ都會地等ニ付テノ、各地方長官ノ調査ニ依ッテ出シタ數字ガゴザイマスガ、其商業倉庫ノ收容量ト云フモノハ、五千三百萬俵ノ收容量ガアルノデアリマス、併シハ空イデ居ル譯デハアリマセヌ、今モ米ガ相當ニ入ッテ居リ、其他ノ貨物モ入ッテ居ルノデアリマスガ、其收容量ト致シマシテハ、其程度アルノデアリマス、左様デゴザイマスルカラ、先般カラ申シテ居リマスルヤウニ、此統制法ニ依ッテノ買上ノ數量ノ計畫等ニ對シマシテハ、只今ノ農業倉庫、商業倉庫ノ現狀ヲ以テ相當應ジ得ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、又將來米ノ生産額ガ次第ニ増加シテ參リマス頃ニハ、御承知ノ通り農業倉庫、又都會地ニ於キマスル聯合農業倉

庫、ソレ等ノモノガ相當發達シテ參リマスシ、ソレカラ商業倉庫等ニ於テモ減ル譯ハナイノデアリマスカラ、是デ間ニ合フダラウト云フ見込ヲ立テ、居ル次第デアリマス、尙ホ付加ヘテ申シマスガ、是ハ蛇足デアリマスガ、今年モ朝鮮ノ米ノ賣控ニ對シテ低利資金ヲ出シマシタト同時ニ、農林省ノ方カラハ二千萬圓ノ低利資金ノ供給ヲ、內國ノ米ニ對シテ同時期ニ出シテ居リマス、ソレカラ是ハ農林省ノ内地ノ米ノミニ付テノ施設デアリマスガ、五百萬圓ヲ限度トシタ粳貯藏ノ獎勵施設モ、必要ガアレバ活動出來マスヤウニナッテ居ル次第デアリマシテ、内地ノ米穀ノ問題ガ統制法ノミデアッテ、甚ダ片手落タト云フヤウナ事ノナイヤウニ努メタイト云フノデ協議致シテ居ル次第デアリマスカラ、一言申上ゲテ置キマス

トセラレルノデアリマス、能ク分リマシタ、所ガ臺灣ノ軟質米ノ内地ニ入リマス此統制及朝鮮及臺灣ノ白米ガドシノ日本内地ニ入ッテ來テ、日本ノ實際ノ米價ヲ壓迫シテ居ル、是ハ事實デアアル、特ニ朝鮮米及臺灣米ノ軟質米ガ、五六月ノ頃ニ日本ノ米價ガ稍、頭ヲ擡ゲンツスル時ニ方ッテ之ヲ壓迫スル、是ガ實際ノ實情デアアル是等ニ對スル御尋ヲシタラ、研究中デアルト云フ御話デアリマシタガ、是ハドウ云フヤウナ方法ヲ以テ實際ニ統制爲サルカ、ドウ云フヤウニシテ之ヲ保管爲サルカ、臺灣米ノ如キハ白米ニシテ參リマシテモ、玄米ニシテ參リマシテモ、何箇月位保管ガ出來ルモノカ、是レ位ノ事ハ政府當局ニ於テモ御調べニナッテ居ルダラウ、吾々ハ能ク知ッテ居ルガ、先ヅ當局ノ意見ヲ承ッテ、私ノ意見ト相違スル所ヲ申上ゲテ見タイト思フ、朝鮮及臺灣ノ白米ノ移入ニ依ッテ内地米ヲ壓迫スル、米ノ生産總テノ加工ニ於テハ、朝鮮臺灣ガ非常ニ進歩シテ居ル、之ヲ以テ日本ノ白米ト相對抗スルナラバ、玄米ニ於テハ日本ノ内地ノ差額ガ二圓カ二圓五十錢デアルガ、ソレヨリ以上ニ四圓モ、五圓モ安イ白米ガドン

ドン入ッテ來ル、是ハ加工上ノ非常ナ進歩ノ結果デアリマス、又勞銀ノ安イ結果デアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、此米穀ノ統制ニ付テハ白米ト云フモノヲ看過スルコトハ出來ナイ、朝鮮及臺灣ノ白米ト云フモノハ、之ヲ朝鮮ニ於テ、又臺灣ニ於テ保管セラレテ、内地ヘ移入スルコトヲ政府ガ統制サレルノカ、之ヲ承ッテ置キタイ

○後藤國務大臣 臺灣ノ米ガ軟質米デアッテ、貯藏ガ可ナリ困難デアルト云フコトハ、御話ノ通りデアリマス、隨テ臺灣米ヲ數量的調節ヲ致シテ買上ヲシ、保管ヲシ、賣出スト云フ行キ方ハ、新シク長期ニ互ル保管方法ガ發見サレマセヌ限リハ、少シ早く手廻シヲシナケレバナラヌト云フコトニナルノデアラウト思ッテ居リマス、白米ガ朝鮮カラ澤山入ッテ、玄米以外ニ内地ノ米ノ價ニ影響ヲ及ボスト云フ力モ、是ハアルト思ヒマス、併ナガラ政府ガ數量調節ノ目的ヲ以テ買上ヲシ、サウシテ月別平均ニ又賣出ヲシテ行クト云フコトノ働キニハ、相當ナ期間ガ要リマスノデ、白米ヲサウ云フ目的ニ使フ譯ニハ參リ兼ネルト思ヒマス、矢張ハハ白米ノ事モ考慮ニ入レテ、サウシテ玄米デ働キヲシテ參ルト云フコトニ致サナケレバナラヌ、或ハ粳デ買フコトモ出來ヨウ、粳カ玄米デ致サナケレバナラヌ、サウ云フコトニ依ッテ、白米ノ來ル事ヲ考慮ニ入レテ考

ヘマスレバ、其方ノ働キデ適當ニ致スコト

ガ出來ルノダト、斯ウ考ヘテ居リマス、尙

ホ私ノ言ツタ事ニ間違ガアリマスレバ、米穀

部長カラ御答致シマス

○白神委員 然ラバ朝鮮米臺灣米ノ統制管

理ハ、玄米ニ於テノミスル、白米ハ自由ニ

移入ヲ許ス、斯ウ云フコトニ簡單ニ承ッテ宜

シウゴサイマスカ

○荷見政府委員 大體白米ハ、只今大臣カ

ラモ御話ニナリマシタウニ、御承知ノ通り

政府ガ取扱フ米ト致シマシテハ、困難ナ問

題ニナルノデアリマス、ソレデ朝鮮ノ白米

ガ廉ク内地ニ參リマシテ、ソレガ爲ニ内地

ノ米價ヲ壓迫スル傾向ガアルト云フコト

ハ、御話ノ通りト考ヘルノデアリマスガ、

其原因ヲ考ヘテ見マス、朝鮮ノ生産者カ

ラ粳デ商人ガ有利ニ買集メタモノヲ、直接

白米ニシテ内地ヘ賣出スト云フコトガ、其

白米ヲ餘計ニ出ス原因ニモナルヤウニ考ヘ

テ居ルノデアリマシテ、私共ガ昨年末カラ

始メテ居リマス朝鮮米ノ季節調節ニ付キマ

シテハ、粳モ買入レテ其方ノ點モ幾ラカ緩

和シタイト云フコトカラ、玄米ト粳ヲ併用

シテ買上ヲ始メテ居ルノデアリマス、併ナ

ガラ御承知ノ通りニ粳ニ付キマシテハ、朝

鮮ニ於キマシテモマダ検査ノ程度ガ十分デ

アリマセヌノデ……

○白神委員 簡單ニ願ヒマス、其事ニ付テ

ハ私モ多少經驗ヲ有ッテ居リマス、ソレヨリ

モ政府ガ此朝鮮及臺灣米ニ對スル統制管理

ト云フモノハ、玄米ニノミ限ッテ、白米ハ自

由放任ノ已ムナキニ在ルノデアアルカ、之ヲ

簡單ニ御答ヲ願ヘバ宜イノデアリマス、詳

シイ説明ハ要リマセヌ、私ハアナタ位ハ知ッ

テ居ル(笑聲)

○荷見政府委員 簡單ニ申上ゲマシテ誤解

ガアッテハイケマセヌカラ……

○白神委員 イヤ誤解ハ致シマセヌ、寧ロ

私ノ方ガアナタヨリ精シイ

○荷見政府委員 詳シク答ヘレバ私モ際限

ガナイノデアリマスガ、極ク簡單ニ申上ゲ

ルノデアリマス——粳ノ問題ニ付キマシテ

ハ、此買入ヲ行フコトニ致シマシテ、此

方ノ統制モ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノ

デアリマシテ、決シテ白米ガドシノ内地

ニ來ルノハ打棄テ、置クト云フ趣旨デハナ

イト云フコトダケ申上ゲマス

○白神委員 只今ノ白米ノ問題ハ不得要領

ノ程度ニ止メテ置キマセウ、ソレカラ買値

ト賣値ヲ決定スルノニハ、矢張諮問機關ト

云フヤウナモノデモ御設ケニナル御積リデ

アリマスカ、唯省ダケデ此値段ヲ御決定ニ

ナリマスカ

○後藤國務大臣 最高最低ノ公定價格ヲ定

メマス事柄、其他出廻調節ニ致シマシテモ、

大體出廻調節ノ數量方針等ヲ決定シマス、

其他米穀法ニ關スル重要ナ事項ヲ審議スル

爲ニ、米穀統制委員會ト云フモノガ出來ル

コトニ法律デモナッテ居リマス、何レハサウ

云フ機關ニ諮問ヲスルト云フ實際ノ重要事

項ニナルト思ヒマス

○白神委員 左様ナ場合ニ於キマシテ、私

ハ是ハ御尋シテ置キタイノデアリマスガ、

過去ノ歴史ヲ見マスと云フト、米穀委員會、

或ハ審査委員會ト云フモノハ、非常ナル偉

イ權威者ガ澤山御加リニナッテ居リマスガ、

只今吾々ノ見マス所ニ依リマス、實際家

ト云フモノガ一人モ入ッテ居リマセヌ、是ハ

非常ニ私ハ弊害デアルト思フ、是等ノ點ヲ

希望條件トシテ申上ゲテ、此審議會トカ、

何トカラ作ル時ニハ、餘程此點ニ付テ御考

慮ヲ煩ハシタイ、是ハ委員會トシテマナ

ク、私個人ノ希望デアリマス、(委員會ト

シテヤレト呼フ者アリ)委員會トシテモ亦

御贊成ガアルト存ジマス、ソレカラ次ニ御

尋致シマスルコトハ、モウアト二ツデアリ

マス、暫ク御待チヲ願ヒマス、買入トカ又

賣ル場合ノ相場ハ、何處ヲ標準ト爲サレマ

スカ、今ノ如ク深川、神田川、或ハ大阪、

此三ツヲ標準トセラレテ、此三ツヲ標準ト

セラレル場合ニ於テハ、米ノ標準ハ何處ノ

米ヲ標準トセラレ、何等米ヲ以テセラレル

カ、此點ヲ一寸承リタイ、簡單ニ御答ヲ願

ヒマス、長イコトハ要リマセヌ

○荷見政府委員 只今ノ買入ヲ致シマスル

際、詰リ基準價格ニ對應スル米價ト致シマ

シテハ、御話ノ通り深川、神田川、及大阪

道頓堀ノ正米市場ニ於ケル、標準中米ヲ構

成シテ居ル銘柄等級ノ米デゴザイマスガ、

是ハ農林省ノ告示ニ於キマシテ其等級ニ當

ル米穀ヲ指定シテゴザイマシテ、其毎日ノ

實際取引ノ總價額平均ガ、基準價格ニ對照

シテ、上ツタリ又ハ下ツタリ致シタ時ニ、買

入ヲ致シ、賣渡ヲ致スト云フ建前ニナッテ

居リマス、ソレカラ米統制法ニ於ケル場合

ニハドレニ依ルカト申シマス、是ハ總テ

價格ヲ基礎銘柄ニ依ッテ定メテ、格差ヲ付シ

テ賣買ヲ致シマスカラ、ソレニ對應スルヤ

ウナ銘柄等級ノモノヲ定メルト云フコトハ

致サヌノデアリマス

○白神委員 甚ダドウモ私ハ聞イテ居ッテ

分ラヌ所ガアルノデアリマスガ、三所ノ基

準値段ハソレデ宜シイ、サウスルト米ハ何

等米デアアルカト云フコトニ對シテハ答辯ガ

ナイ、サウシテ何箇所位ニ於テ之ヲセラレ
ルカ、ソレカラ御承知ノ通り標準價格ガ三
所ノ標準價格デアリマシテモ、其縣、其國
ニ依ツテ非常ニ高イモノガアリ、安イモノガ
アル、或ハ秋田縣ノ如キ、同ジ米デモ新潟
縣ノ如キ、隣國デアッテモ違フノデアリマ
ス、又岡山縣ノ如キ、或ハ四國ノ香川縣ノ
如キ、皆其縣々ニ於テ違フノデアリマス、
ソレヲ買入ヲスルト云フコトハ、頗ル困難
ナルモノデアリマスガ、是等ハ唯自由自在
ニ政府ノ役人ニ於テ適當ニ御決メニナルノ
デアリマスカ、是等モ矢張諮問委員會ニ御
掛ケニナル積リデアリマスカ

○荷見政府委員 公定價格ノ決定ニ當リマ
シテハ、矢張諮問機關ノ諮問ヲ經テ、其公
定價格ヲ決定致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス、ソレカラ公定價格ヲ決定致シマスル
銘柄、又ソレノ銘柄ヲ基礎ト致シマシテ、
各種ノ銘柄等級ノ米ニ付スル格差ノ問題ニ
付キマシテハ、同ジヤウニ取計フコトニナ
ルト思ヒマス

○白神委員 一ツダケ残ッテ居リマスカラ
御許シヲ願ヒマス、是ハ本會議ニ於テ、私
ガ質問ヲ致シマシタニ對シテ、後藤農林大
臣ヨリ御答辯ガアリマシタ、何レ詳シキコ
トハ、委員會ニト云フ言葉デアリマシタ、

資金問題デアリマス、政府ノ御答ハ七億圓
ノ中、後ニ殘ルモノハ、四億三千萬圓ハ實
行ヲシ得ル資金デアルト云フ簡單ナ御答ガ
アツタ、併シ是ハ私モ當時質問スルノニ、概
略デ宜シウゴザイマスカラト云フ言葉デ、
概略ノ御答デアリマシタ、デ色々世ノ中ノ人
ノ噂ニ依リマスルト、今マデ赤字トナッテ損
失シテ居ル金ト、政府ノ言ウテ居ラレマス
所ノ金額ト非常ニ差ガアルコト、茲ニ疑ヲ
有ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ現在ニ於
ケル所ノ米ノ、持ッテ居ル所有米ノ損失、之
ヲ現在賣拂ッタ時ノ損失、是等ノ倉庫費、
金利、總テノモノハ未ダ計算ノ上ニ出テ居
ラナイ、所謂借出シ計算ニナッテ居ルノデ
ハナイカト云フ疑ヲ有ッテ居ルノデアリマ
ス、ソレカラ今後此大キナ損失金額ト云フ
モノナリ、現在有ッテ居リマスル米ニ對ス
ル倉敷金利ト云フモノヲ計算スルト、此七
億圓ノ資本ト云フモノニ對シテハ非常ナ多
額ノ金利ヲ要スルノデアリマス、サウ云フ
モノヲ入レマシテ、果シテ實際ノ米價統計
法案ヲ實施セラレルニ當ッテ、生キタ資本、
本當ニ使フベキ資本ト云フモノガ幾何殘ル
ノデアルカ、是ダケハ親切ニ御答願ッテ
置カヌト云フト 吾々ハ非常ニ不安ヲ感ズ
ル點デアル、又世間モ此點ニハ非常ニ疑ヲ

有ッテ居ルノデアリマス、ドウカ明確ナル御
答辯ヲ願ヒタイ

○後藤國務大臣 其點ニ付テハ此委員會デ
モ、多分政府委員ヨリ御説明ハ一應致シタ
カト思ヒマス、尙ホ詳シク御必要デアリマ
スレバ、御説明ヲ致サセマス、損失ガ一億
八千五百萬圓ト云フコトニナッテ居リマス、
其以外ニマダ大キナ損失ガ外ニ隠サレテア
ルノデハナイカ、サウ云フコトハ全クアリ
マセヌ、ソレカラ現在ニ有ッテ居ル米ノ格
下カラ生ズル損失、其他ノモノモ皆計算ニ
入レテアリマス、保管料、倉敷料等ノ如キ
ハ皆計算ニ入レマシテ、新米穀統制法ヲ實
施シヨウト致シマス本年ノ十一月初メニ於
テハ、約四億三千萬圓ノ餘裕資力ヲ以テ出
發ガ出來ル、斷ウ云フ計算ニナッテ居リマ
ス

○白神委員 是デ打切りマスガ、此數字ニ
對シテハ過日ノ本會議ニ於テノ質問ト同様
デアリマス、詳シイコトヲ承ルコトヲ得ナ
カッタコトハ、委員會トシテハ遺憾ニ存ジ
マスガ、私等ノ想像スル所ニ依リマス、
現在ノ御持チニナッテ居ル米ヲ、買入ノ値
段ト、同ジ相場ニ依ッテ御計算ニナッテ居ル
ト云フコトダケハ私ハ間違ナイと思ヒマス
○後藤國務大臣 サウ云フコトハ決シテア

リマセヌ、米穀部長カラ申上ゲテ居ル通り
デアリマス

○白神委員 ドウ云フヤウナ價格ノ計算ヲ
爲サッテ居ルカ、現在ハ如何ナル値段ノ計算
ヲシテ居ルカ

○荷見政府委員 此米ノ評價ノコトニ付キ
マシテハ、是ハ會計法ノ規定ニ依リマシ
テ、毎年政府ノ所有致シテ居リマスル米穀
ヲ、三月三十一日現在ノ價格ニ依ッテ評價
シマス、ソレハ各事務所ノ米穀取扱主任ノ
評價ニ依ルノデアリマシテ、其地方々々ニ
於ケル價格ニ依ッテ、一々ノ米ニ付テ評價致
シテ居リマスカラ、平均的ニ申上ゲル譯ニ
ハ參リマセヌケレドモ、毎年々々改訂致シ
テ居ル譯デアリマス、年ニ一回ダケ致シマ
スガ、其時ニハ當時ノ市價デ算定致シマス、
ソレガ爲ニ時々同ジ數量デゴザイマシテ
モ、米穀ノ價格ノ評價ハ違ッテ參ルノデア
リマス、只今持ッテ居リマスルモノハ、丁度
八千三百萬圓バカリノ米ノ價格ニナッテ居
リマス

○松山委員 私ノ質問ハ拓務大臣、朝鮮ノ
政務總監ニ對スル質問ガ少シ殘ッテ居ルノ
デアリマス、其實問ニ入ルニ先立チマシテ、
私ハ此委員會ニ於ケル質問應答ヲ聽イテ居
リマスル間ニ、特ニ一ツノコトニ付テ拓務

大臣並ニ政務總監ノ御注意ヲ促シテ置キタイノデアリマス、ソレハ朝鮮米ノ格下ノ問題デアリマス、清家君カラ御話ガアツタ問題デアリマスルガ、此事ニ付テ農林大臣ノ御意見ハ自然ニ放任スル、自然ニソレガ宜クナルグラウト云フヤウナ意味ニ受取レタノデアリマス、朝鮮米ガ以前ニハ非常ニ品質ガ悪カッタ、ソレガ今日ニ至リマシタニ付テハ、是ハ自然ニ委シテ置イデアッタモノデハナイノデアリマス、品質ト數量ノ事ニ付キマシテハ、朝鮮總督府ガ非常ニ是マデ努力ヲシテ斡旋ヲ致シタノデアリマス、其結果今日ニ至ッタノデアリマス、技術上ノ點ニ於テハ十分努力セラレマシタケレドモ、價格ノ點ニ於ケル努力ガ足りナイト私共ハ思ッテ居ル、此格下ノ問題ガ内地ノ米價ヲ壓迫シテ、サウシテ朝鮮米ガ厄介視セラレテ、ソレガ又同時ニ朝鮮ノ生産者ノ經濟ヲ惡クスル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、其點ニ付テハ特ニ注意ヲ拂ハレテ、今後努力セラレンコトヲ私ハ希望致スノデアリマス

ソコデ私ハ朝鮮ノ產米増殖計畫ト云フコトニ付テ質問致シタイト存ジマスガ、今日產米増殖計畫ガドウ云フ狀態ニ於テ進行致シテ居リマスルカ、一般的ノ事ハ宜シウゴ

ザイマス、唯ドレ位ノ金ヲ年々使ッテ、今日迄ドレ位ノモノガ成功ヲシテ居ルカ、今後モウ何年ヤレバソレガ終ルコトニナツテ居ルカト云フコトニ付テ、チヨット御報告ヲ願ヒマス

○今井田政府委員 細カイ數字ニ付テハ間違ガアツテハイケマセスカラ、調べマシテ後程御報告致シマス

○松山委員 私ノ承知致シテ居リマス所デハ、朝鮮ニ於テ產米増殖計畫ヲ行ツタ、其事業ノ實體ト致シマシテハ水利組合ノ事業デアリマスガ、其水利組合ノ事業ハ非常ニ困難ニ陥ッテ居ル、斯様ニ承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレハ其筈デアリマス、昨日ノ誰カノ質問ニモ御答ガアリマシタガ、總督府ガ之ヲ認可スル時ニ於テハ、穀ノ價格ヲ一石十二圓ヲ標準トシテ、之ヲ許可シテ居ッタノデアリマス、朝鮮ノ米ハ比較的目方ガ輕イノデ、歩留リガ惡イノデアリマスカラ、物ニ依ッテハ違ヒマスガ、之ヲ換算致シマスト玄米ニシテ二十七圓位ニナル筈デアリマス、其二十七圓位ノ玄米ノ價格トシテ許可シテ居リマスモノガ、庭先相場デ十四、五圓位ニ米ノ値ガ下ッテ居ルノデアリマス、困難ヲスルノハ當然ノ事デアリマス、此事ニ付キマシテ、曾テ或ル米穀部長ガ話サレ

タコトモ私ハ記憶シテ居リマス、吾々事務官ノ方トシテハ出來得ルダケ最善ヲ盡シタ、ソレデモ迎モ十分ノ救済ハ出來ナイ、是レ以上若シ米價ノ安イコトガモウ一年モ續クヤウナコトガアレバ、特別ナ政治的解決ヲシテ貰ハナケレバ、到底是ハ如何トモスルコトガ出來ナイト、嘆聲ヲ漏サレタコトヲ私ハ承知致シテ居リマス、其政治的解決ト云フコトニ付テ、私共ハ米ノ移出再禁止ト云フコトハ非常ニ重大ナル關係アルコトヲ見テ來タノデアリマスガ、偕テ其再禁止ノ確立サレタ今日ニ於テモ、尙ホ到底此水利組合ノ事業ノ困難ヲ救フト云フコトマデニハマダ至ッテ居ラナイノデアリマス、ソレデ私共ハ茲ニ更ニモウ一ツ政治的解決ニ付テ考慮ヲ拂フ必要ハナイカ、此趣意ニ於テ私ノ質問ヲ進メテ見タイト思フノデアリマス

朝鮮ノ水利組合ノ事業ト云フコトニ付テハ、内地デハ之ヲ耕地整理組合ト云フ名前デヤツテ居リマス、少シク内容ガ違ヒマスガ、大體ニ於テ同ジデアリマス、朝鮮デハ水利組合ノ事業デヤツテ居リマスルガ、朝鮮ニ於ケル水利組合ニ付テハ、ソレガ困難ニ陥リタル場合ニハ、特別ニ政府ガ同情ヲスベキ理由ガ内地以上ニ私ハアルヤウニ思フ

ノデアリマス、ソレハ併合後日尙ホ淺クシテ、朝鮮總督府ノ政治ト云フモノハ、其年數ニ於テ又内容ノ行届イデ居ナイ點ニ於テハ、内地ニ於ケルヤウニハナツテ居リマセヌ、故ニ調査ガ不十分デアル、例ヘバ洪水量ノヤウナモノニ付キマシテ、朝鮮總督府ニ多年ノ調査ガナイノデアリマス、故ニ水利組合ノ事業ヲヤルニ付テ、ソレガ若シ河川ノ近傍デアルヤウナ場合ニハ、總テ其地方ノ人ガ是レ位ノ洪水ナラ六十年目ニ來ル位ノコトダト云フコトヲ能ク話ヲシマス、ソレヲ聞イテ其位ノ腰溜デ此堤防ノ高サヲ決メ、或ハ水量ヲ推定致シマシテ、ソレデ水利組合ノ事業ヲ計畫セラレテ居ルノデアリマス、所ガソレガ非常ニ見當違ヒナノデアリマス、六十年目ニ來ルト云フヤウナ洪水ガ殆ド一年置キ位ニ來ル、大正十四年ノ洪水ノ如キハ、總督府ガ是レ位ガ最大洪水デアルト言ッテ居ッタガ、ソレヨリモ五尺モ七尺モ高イ洪水ガ來ル、大抵水利組合ノ堤防ト云フモノハ、河川ノ附近ニ於テハ四尺トカ五尺ト云フ餘裕ヲ見テ居リマスガ、其堤防ノ上ヲ三尺モ越スヤウナ大洪水ガ來ル、是ハ朝鮮ニ於テハ已ムヲ得ナイ、併シ事業ヲヤルニ付テハ、ソレガ爲ニ非常ナ困難ニ陥ルノデアリマス、ソレデ水利組合ガ

非常ニ困難ニ陥リタル場合ニ於テハ、朝鮮ニ於テハ特ニ之ニ同情スベキ事情ガアルト思フノデアリマス、又モウ一ツノ例ヲ申シマスト、例ヘバ先ヅ山林ヲ治メテ、ソレカラ河川ノ改修ヲヤツテ、ソレカラ其川ノ傍ニ於ケル土地改良事業ヲアルト云フコトガ順序デアルベキ筈デアル、所ガ實際ニ於テハソレヲ逆ニ行ッテ、先ヅ土地改良事業ヲヤル、所ガ洪水ガ出テ困ル、是デヤイカスト云フノデ、河川改修ノ計畫ヲ立テル、所ガソレデモ洪水ガ出テ困ル、是非治山ノ策ヲ立テナケレバナラヌト云フノデ、下岡君ガ行キマシタ時ニ初メテ治山第一主義ヲ採ッテ、先ヅ山林ヲ治メ、河川改修ヲヤツテ、次ニ土地改良ヲアルト云フコトニナツタ、斯ウ云フ實情デアルノデアリマス、ソレガ爲ニ以前ノ河川ノ傍ニ於ケル水利組合ノヤウナモノハ、工事が出来上ッテ九分九厘ト云フ所マデ行ッテ、排水ニ非常ニ惱ンデ居ルノデアリマス、是ハ技術上皆サウナルノデアリマスルガ、七年、八年、十年ト經ッテ居ル間ニ山林ヲ治メルコトガ能ク出来テ居ラスガ爲ニ、河ノ底ガ一尺モ二尺モ高クナッテ排水ガ困難ニナル、ソレデ水利組合ガ困難ニナルト云フ事情ナノデアリマス、是ハ何モ政策ガ惡イノデヤナイ、朝鮮ノ事

情ニ於テハ已ムヲ得ナイ、故ニ此朝鮮ノ水利組合ニ付テハ、特ニ其經營上ニ付テ、今日ノヤウナ特別ナ事情デ二十六、七圓ノ標準デ許可シタ米ノ値段ガ十四、五圓ニモ下ガルト云フ事情ノ爲ニ困難ニ陥ッタ時ニハ、特ニ朝鮮總督府ハ之ニ付テ同情シテ、官民一致其困難ヲ切抜ケル、受難時代ヲ切抜ケルヤウニ注意ヲシナケレバナラヌト思フノデアリマス

殊ニモウ一ツ私ハ朝鮮ノ事ニ付テ注意シナケレバナラヌ點ハ、斯ウ云フ點ニアルト思フノデアリマス、此水利組合ヲアルト、自然其水利組合長ニハ多クノ場合ニ於テ是ハ日本人ガナリマス、若シソレガ朝鮮人デアル場合ニハ、其下ノ出納役或ハ庶務ノ主任ニ當ル者ハ朝鮮總督府ノ關係ノ人ガソレニ當ル、ソレデアリマスカラ經濟的ノ團體デアリマスルケレドモ、是ガ總督府ノ役人ノ手デ事實上實權ヲ握ッテ管理サレル、是ガ朝鮮ニ於テ商工業ノマダ盛ニナッテ居ラナイ、殆ド土地ノ生産ト云フ事ガ唯一ノ經濟的ノ資源デアル所ノ朝鮮ニ於テ、其土地ヲ日本人ノ手デ管理セラルト云フコトハ、是ハ民族的感情ノ上カラ申シマシテモ、朝鮮人ニ取ッテハ非常ニ重大ナ事デアル、京城ニハ朝鮮「ホテル」ト云フノガアリマスルガ、

其朝鮮「ホテル」ノ後ロニ環丘壇ト云フノガアリマス、ソレハ曩ノ李太王殿下ガ皇帝ノ即位式ヲアル時ニアノ環丘壇ト云フ處デヤツタ、併シアレハ其前朝鮮ガ支那ノ宗主權ノ下ニアッタ時代ニ於テ、支那カラノ使ガ來ル時ノ旅館デアッタ、其處デ歡迎ヲシ、其處ヘ泊メル所ノモノデアッタ、鴻臚館ト云ッテ泊メル所ノモノデアッタ、サウシテ其當時ノ支那ノ役人ガ朝鮮ニ來ル場合ニハドウ云フ状態デアッタカト言ヘバ、沿道デハ非常ニ歡迎シタ、或ハ幕ヲ張り、或ハ人ガ堵列ヲシテ、事實ハ朝鮮ヲ見セナイヤウニシテ、サウシテ其鴻臚館ニ入ルト御馳走ヲシ、美人ヲ宛ガイ歡迎シテ應接ニ違ナカラシメタ、サウシテ歸ル時ニハ土産ヲ澤山持タセテ、事實ニ於テハ朝鮮ノ實情ヲ何モ見セナイデ歸ス、是ガ支那ノ朝鮮ニ對スル宗主權ノ實體デアッタノデアリマス、事實ニ於テハ支那人ハ政治ノ内容ニ付テ關與シテ居ラナカッタ、所ガ日本ノ朝鮮總督府ノ政治ニナッテカラハ、役人ハ中央政府ハ勿論ノコト、地方ノ道廳ニ於テモ、或ハ郡廳ニ於テモ、殆ド其實權ハ日本人ガ之ヲ占メテ居ル、是ハ民族的感情ノ上カラ言ウテ朝鮮ニハ非常ニ快クナイ、非常ニ嫌ナコトデアル、ソコヘ此水利組合ノ事業ト云フコトガ入ッテ參

リマシテ、更ニ其經濟生活マデ干涉ヲスルコトニナッテ參ツタ、是ハ民族的感情ニ慙ヘマシテモ非常ニ重大ナコトデアル、非常ニ機微ナ所ニ關係ノアル重大ナ問題デアル、是ガ私ガ申シマスル政治的因果デアル、日本内地ニ於テハ經濟的問題デアルケレドモ、朝鮮ニ於テハ經濟的ニ加ヘルニ政治的因果ガアルト申シマスルノハ此點デゴザイマス、故ニ此朝鮮ノ水利組合ノ事業ト云フモノニ付テハ、特ニ朝鮮總督府ハ細心ノ注意ヲ以テ此問題ニ付テ取扱ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、所ガ朝鮮總督府ハ之ヲ獎メルニ付テハ非常ニ專制的ナ無理ヲシタ遣方ヲ致シテ居リマス、ソレハドウ云フコトカト言ヘバ、水利組合令ノ中ニアル水利組合地區内ノ面積ニ於テ七割、人數ニ於テ半數ノ者ガ承諾ヲスレバ、面積ニ於テ三割、人數ニ於テ五割ノ者ガ反對ヲシテモ遣リ切ッテシマフノデアリマス、サウ云フ一ツノ無理ナ、非常ニ強制的ナ規定ガ此水利組合令ノ中ニ含ンデ居リマシテ、ソレニ依ッテ是ハ實行サレル、併シソレハドウ云フコトカト言ヘバ、朝鮮人ノヤウナ先ヅ理解ノ少イ者ニハ強制的ニヤラナケレバヤレナイ、是ハ實際上ノ理由カラ來テ居ル、是モ私共ハ別ニ惡イコト、ハ思ッテ居ナイ、併

シスウ云フ強制的ノコトヲスルヤウニナツタ其動機ハ何カト言ヘバ、一ツニハ日本ノ人口食糧問題、今日ハ朝鮮ノ米ハ非常ニ厄介視サレテ居リマスケレドモ、茲十年前ニハ朝鮮ノ米ニ依ッテ日本ノ人口食糧問題ヲ解決シナケレバナラヌト云フ聲ガ非常ニ高カッタデアリマス、其日本内地ノ人口食糧問題ノ爲デアリマスルガ、モウ一ツハ斯クスルコトガ朝鮮人ノ爲ニ宜シイ、朝鮮人ノ爲ニ是ハ善イ事ヲシテヤルノダト云フ、其善イ動機ニ於テ是ガ強制的ニ行ハレテ居ルノデアリマス、是ガ朝鮮ニ於ケル水利組合ノ實體デアリマス、事實ヲ申シマスレバ、小作人ハ此結果確ニ恩恵ヲ受ケテ居リマス、其收入ガ確實ニナルコト、サウシテ量ニ於テ殖エテ居リマス、其生活ハ確ニ安定ノ状態ニアル、地主ハ必シモサウデナイ、併シソレハ何カト言ヘバ、先ヅ今日ハ困難デアルケレドモ、先ニ行ッタラ良クナル、大抵二十年或ハ二十五年ノ長期ノ年賦償還ノ方法ニ依ッテ之ヲ完済スルコトニナッテ居リマスカラ、二十五年経テバ良クナルノガラ、先ヅ我慢シロト云フコトデヤッテ居ル、先ヅ是モ能ク話ヲスレバ朝鮮人トシテモ能ク分ルト思ヒマス、併シ今日ノヤウニ二十六七圓モスル積リデ、其採算ノ下ニ認可サ

レタ水利組合ガ、米ノ値ガ十四五圓ニナツテ、全部出シテモ水利組合ノ費用モ拂ヘナイ、斯ウ云フ状態ニナッテハ、是ハ朝鮮人ノ心理状態ニ惡イ影響ヲ及ボスコトハ明デアル、今日朝鮮ノ水利組合ガ採算ガ取レナイ、殊ニ其中ノ成績ノ良クナイモノヲ不良水利組合ト云ッテ居リマスガ、今日ノ状態デハ殆ド全部イケナイ、其水利組合ノ成績ノイケナイ、困難ニナッテ居ルモノヲ援ケルト云フコトニ付テハ、朝鮮總督府ハ特別ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌモノト私ハ考ヘルモノデアリマス、朝鮮總督府ガ不良水利組合ト云フモノ、救済ト云フコトニ付テ、ドウ云フ状態ニ於テ今日之ニ注意ヲ拂ッテ居ルカ、ドノ位ノ金ヲ使ッテヤッテ居ルカト云フコトニ付テ、御調ガアリマスルナラバ御報告ヲ願ヒタイノデアリマス

○今井田政府委員 只今ノ御質問ニ御答致シマス、朝鮮ニ於ケル水利組合ガ最近數年間ニ於ケル米價下落ノ爲ニ、其經營上非常ニ困難ヲ告ゲテ居リマスコトハ、只今松山君ノ御話ノ通りデアリマス、隨テ之ニ對シマシテ出來ルダケノ救済ノ方法ヲ講ジタイト云フコトデ、是モ數年來有ユル手段ヲ講ジテ參ッタノデアリマス、其講ジマシタ手段ノ主ナルモノニ付テ申シマスレバ、先ヅ高

利ノ負債ヲ低利ナル資金ヲ以テ借替ヘルト云フコトヲ出來ルダケ致シテ居ルノデアリマス、八分九分以上ノ資金ヲ利用シテ居リマシタモノヲ、一昨年來殆ド大部分ハ低利ニ借替ヘマシテ、現在ニ於キマシテハ六分何厘ト云フ風ニ、過去ノ高利ノ負債ニ比較シマシタナラバ相當低利ノ資金ニ之ヲ肩替リ致シタノデアリマス、尙ホ一方ニ於キマシテ出來ルダケ組合ノ經費ヲ節約スル、只今組合ノ組織或ハ當事者ノ選任等ニ付キマシテモ言及サレマシタガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテモ十分ニ考慮致シマシテ、出來ルダケ組合ノ經費ヲ節約スル、斯様ニ致シマシテ組合ノ負擔ヲ減少致スヤウニ致シタノデアリマス、尙ホ斯様ナ方法ヲ執リマシテモ組合ノ成立ヲ維持スルコトガ出來ナイト云フヤウナ極端ナ不良水利組合ニ付キマシテハ、已ムヲ得ズ之ヲ解散スル、而シテ其場合ニ於ケル負債ノ整理ニ付キマシテハ、組合員或ハ債主及總督府ト云フモノガ相當ノ割合デ其經費ヲ負擔致シマシテ、茲ニ解散ノ手續ヲ執ルト云フモノモ間々アルノデアリマス、尙ホ其外先程御話ニナリマシタ過去ニ於ケル調査ノ不十分ト申シマスカ、或ハ設計ガ周到ナラザリシ結果デアリマスルカ、不慮ノ災厄ニ

伴ウテ、非常ニ負擔ガ増シテ來タト云フヤウナモノニ付キマシテハ、特別ナ補助ヲ致シ、ソレ等ニ對シマシテ、或ル程度ノ負擔ヲ輕減スルト云フヤウナ方法モ執リマシテ、極力救済致シテ參ッタノデアリマス、斯様ナ方法ニ依リマシテ色々ノ手段ヲ講ジマシタ結果、今日迄、大體ニ於キマシテハ救済ガ出來タノデアリマスルガ、先程御話ノ所謂不良水利組合デ斯ウ云フヤウナ方法ヲ以テモ救済出來ナイモノガ、今日尙ホ多少殘ッテ居ルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテモ、今日尙ホ十分ニ之ガ救済ノ方法ニ付キマシテハ、攻究シ、手段ノ取り得ル限り手段ヲ取ッテ居ル次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ先程水利組合事業ノ所謂產米増殖計畫事業ノ今日迄ノ實績ヲ御質問ニナリマシタガ、是等ノ計數ヲ御説明申上ゲマス昭和六年度末現在ニ於キマスル所ノ實績ト、豫定計畫トノ對照ヲ申上ゲマスルト云フト、土地改良施行面積デアリマスルガ、是ガ著手ガ——豫定ガ昭和六年末迄二十六萬五千六百町歩ト云フノニ對シマシテ、實績ガ十四萬九千餘町歩ト云フコトニナルノデアリマス、又竣功面積ガ豫定ガ十三萬一千二百町歩、之ニ對シマシテ實績ガ十一萬

四千五百餘町歩、割合ヲ見マスルト云フ
ト、豫定ニ對シマシテ實績ガ著手面積デ九
割、竣功面積デ八割七分、斯様ニ相成ッテ居
リマス、ソレカラ之ニ要シマシタ事業資金
ハ、國庫補助金ガ豫定ガ二千七百四十三萬
餘圓ニ對シマシテ、實績ガ千九百六十九萬
餘圓、企業者ノ調達致シマシタ資金ガ豫定
ガ千二百四十三萬圓、之ニ對シマシテ實績
ガ千六百八十八萬餘圓、政府ガ斡旋致シマシ
タ低利資金ガ、豫定ガ八千五百六十四萬餘
圓、之ニ對シマシテ實績ガ六千四百三十七
萬餘圓、是等ヲ總計致シマシテ見マスルト
云フト、豫定ガ一億二千五百五十一萬餘圓
ト相成リマシテ、實績ガ九千五百七十五萬
圓、斯ウ云フコトニ相成ッテ居リマス

○松山委員 當局ニ於テモ御了解ノアル
如ク、朝鮮ニ於テハ私ノ御話ヲ申上ゲタヤ
ウナ事情モアリマスガ爲ニ、今日ノヤウナ
受難時代、非常ニ困難ナル、豫期セザル困
難ニ遭遇シタ時ニ於テハ、其事業ニ於テ
ハ、其事業ヲ維持シテ行クト云フコトニ付
テ、官憲ニ於テモ、或ハ金融機關ニ於テ
モ、是ガ事業家ト協力致シマシテ、最善ノ
援助ヲ之ニ與フベキモノデアルト云フコト
ハ、私ハ當局ガ十分御了解下スッテ居ルコ
ト、思フノデアリマス、所ガ事實ハサウナッ

テ居リマセヌ、官僚壓迫ガ非常ニ甚シイ、
金ガ足りマセヌノデアリマスカラ、自然水
利組合ニ納メルト云フヤウナ問題ニ付テ官
僚ノ壓迫ガ非常ニ甚シイノデアリマス、ト
申上ゲマスルノハ、近年ニ於テハ此水利組
合費ヲ納メルニ割引ヲシテ居ル、内地ニ於
テモシテ居ル如ク、朝鮮ニ於テモ割引ヲシ
テ居ルカラ、サウ云フコトハナイ筈ダト言
ハレマセウガ、是ハ政務總監ノヤウナ上ニ
居ラレル方ハ其實情ハ分ルマイガ茲ニ官憲
ガ壓迫スル機會ガ非常ニ多イノデアリマ
ス、サウ云フコトノ折衝ガアル爲ニ、一旦
役人ガ此數字ヲ決メルト、ソレヲドウシテ
モ動カサナイ、役人ノ威信ニ關ハルト言ッ
テ動カサナイ、ト云フ今日ノ實情デ、内地ニ
於テモ金融界ガ斯ウ云フヤウニ困難ヲシテ
居ル時ハ、地方ニ於テモソレガ非常ニ困難
シテ居ルノデアリマスカラ、其不足ヲ補フ
爲ニ拂込金ヲ取ルト云フヤウナコトガ出來
ナイノデアリマス、ソレハ出來ル所ガアル
カモ知レヌガ、大部分ハ出來ナイ、之ニ對
シテ官憲ノ壓迫ガ非常ニ甚シイ、然ラバ其
金融機關ガ之ニ對シテ同情ヲスルガ、是又
茲ニ甚ダ專制的ナコトガ行ハレテ居ルノデ
アリマス、其結果トシテドン／＼水利組合
ノ管理權ヲ役人ニ收メテ居ル、例ヘバ民間

ノ者ガ組合長ヲシテ居ルノヲ、郡守ガ取ッテ
シマフ、郡守ニ之ヲヤラセル、是ハ見方ニ依
レバ親切ノヤウデアアルガ、併シ吾々カラ考
ヘルト、民間ノ事業ニ、突ケバ血ノ出ルヤ
ウナ有機的ノ關係ノアル者ガ、水利組合長
ヲヤッテ居ルノヲ、役人ガ組合長ニナッタカ
ラト言ッテ、ヨリ良イ結果ヲ收メヨウトハ思
ハレナイ、所ガ役人ガ水利組合長ニナルト、
融通ガ利ク、民間ノ者ガヤッテ居レバ融通ガ
利カナイト云フノデ壓迫シテ、ドン／＼水
利組合ノ管理權ヲ役人ニ移ス、自治團體ト
言フケレドモ事實ハ官僚ノ手ニソレガ移ッテ
居ル、是ハ非常ニ憂フベキコト、思フノデ
アリマス、此困難ナ時代ニソレヲ取ラウト
思ヘバ幾ラデモ取レル、是ハ上ノ役人ハサ
ウ云フコトハアル筈ハナイト、斯ウ云フデ
セウガ、是ハ斯ウ云フ事情デス、自分ノ部下
ニ仕事ヲ與ヘタイ、郡ノ役人——自分ノ部
下デ鹹ラナケレバナラヌ者ガアレバ、サウ
云フ所ニ入レテ、又暫ク月給ヲ取ル地位ヲ
與ヘタイト云フヤウナ心理ガ働カヌデモナ
イ、是ニ於テ人ノ心理狀態ニ立入ッテ想像
スルヤウデアリマスガ、事實上サウ云フ機
微ナ所ニ心理狀態ガ働クト云フコトノ爲
ニ、此水利組合ガ非常ナ壓迫ヲセラレルノ
デアリマス、最近郡守ナリ或ハ其他ノ官吏

ノ下ニ移ッタ水利組合ガドノ位ノ數デア
カ、ソレノ御調ガアレバ御報告ヲ願ヒタイ
ノデアリマス、尙ホ近キ將來ニ於テ移ラン
トシツ、アルモノモ何方御調ガアレバ御報
告ヲ願ヒタイ

○今井田政府委員 水利組合ガ債務償還ニ
付テ非常ニ苦シンデ居ルコトハ御話ノ通り
ト承知シテ居リマス、之ニ付テハ先程申上
ゲマシタヤウニ、色々手段ヲ講ジテ居リ
マスガ、尙ホ現實ニハ土地ノ收入ニ依ッテ
償還ノ出來ナイモノニ付テハ、原則ト致シ
マシテハ、其土地ノ收入ノ中カラ償還シ得
ル能力ニ隨ヒマシテ、償還シ得ルダケノモ
ノヲ償還セシムルト云フ方針ヲ執ッテ居ル
ノデアリマス、非常ナ無理ハ加ヘテ居ナイ
積リデアリマス、即チ或ル部分ハ償還ヲ延
期スル、或ハ延期シ難イト云フヤウナ事情
ノモノニ對シテハ、債務償還資金ヲ更ニ融
通スルト云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、臨
機應變ニ救済ノ方法ヲ講ジテ居ル次第デア
リマス、左様ナ譯デアリマスカラ、極端ニ
強制シテ債務ヲ償還サセルト云フヤウナ場
合ハ非常ニ少イコト、私共ハ承知シテ居リ
マス、又強制シテ債務ヲ償還セシムル爲
ニ、組合デ選任シタ當事者ニ代ユルニ郡守
ヲ以テスル、或ハ其他ノ官吏ヲ以テ之ニ充

當スルト云フヤウナコトハシテ居ナイノデアリマス、從來組合長が缺員トナリ、或ハ組合長が組合ノ統制ガ出來ナイ爲ニ辭任ヲシタト云フヤウナ場合、又ハ組合トシテ適當ナ理事者ヲ選任スルコトノ出來ナイト云フヤウナ事情ノ生ジマシタ場合ニ於テハ、臨機ノ處置トシテ郡守其他ヲシテ取敢ヘズ組合長ノ事務ヲ遂行セシムルト云フヤウナコトニ致シテ居リマシテ、決シテ強制的ニ組合債ヲ償還セシムルト云フコトニ對シテ、強制スルト云フヤウナコトハ毛頭考ヘテ居ラナイノデアリマス、尙ホ斯様ナ組合ノ數ガ幾ラカト云フ御質問デアリマスガ、取調テ御答致シマス

○出井委員長代理 松山君ニ御尋致シマス
ガアナタノ御質問ハマダ餘程長時間ヲ要シマスカ

○松山委員 終リニ近付キツ、アリマス、此問題一ツヨリ外ハナイノデアリマス

○出井委員長代理 宜シウゴザイマス
○松山委員 組合長ニ選任スベキ適當ノ人ノナイ場合ニ、缺員ノ生ジタル場合ニ、其後任ノナイ場合ダケ郡守ヲ組合長ニシテ居ルノデアルト云フコトハ政務總監ガ實情ヲ御存ジナイノデアリマス、是ハモウ少シ歸ッテ詳シク御調べ願ヒタイト思フノデアリマ

ス、更ニ私ノ話ヲ進メマスガ、ソレヨリモット密接ナ關係ノアルノハ金融機關ノ方法デス、殆ド今日ハ朝鮮殖産銀行ガ其局ニ當ッテ居ル、此金融機關ガ朝鮮ニ於テドウ云フ實情ニアルカト言ヘバ殆ド今日ノヤウニ仕事ハ年々缺損ガ起ッテ來ルノデスカラ、皆ソレ殖産銀行ヨリ借りルヨリ仕様ガナイ、所ガ殖産銀行ヨリ借りルニ付テハドウカト云フト、其土地ハ皆擔保ニ殖産銀行ニ入レテアル、故ニ殖産銀行ガ是ヨリ擔保價值ガナイ、是レ以上ノ經濟能力ガナイト認定シテ貸サナイト云フコトニナレバ、行詰ッテ其土地ハ又殖産銀行ニ取ラレテシマフ、サウ云フモノガ今日澤山朝鮮ニ於テハアル筈デアリ、近キ將來ニ於テサウ云フ風ニナリツツアルノデアリマス、之ニ付テ政務總監ハドウ云フヤウニ御考ニナッテ居ラレマスルカ知リマセヌガ、近頃殖産銀行ニ成業社ト云フモノガアル、今モ言ヒマスヤウニ殖産銀行ニ取ラレタ土地ヲ經營スル所ノ一ツノ會社デス、其會社ノ重役ト云フモノハ殆ド殖産銀行ノ人デ全部ヤッテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ外カラ監督スルコトハ極メテ困難デスガ、兎ニ角サウ云フモノガ出來テ居ル、是ガ非常ニ憂フベキ結果ヲ來シテ居ル、私ハソレガ出來タト云フコトヲ聞イタ

初カラサウ云フ感ジヲ有ッタノデアリマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスルト、殖産銀行ノ支店長トカ、或ハ其下デ使ハレテ居ル人ガツイ首ニデモナルト云フ者ハ自分ノ行ク所ヲ其處ニ見付ケル、一體銀行家ノ仕事ト云フモノハ、一方カラ云ヘバ人ガ頭ヲ下ゲテ金ヲ借りニ來ルカラ面白イカモ知レマセヌガ、一方カラ云ヘバ餘リ愉快デナイ、ソレガ事業ノ經營ニ當ルト云フコトニナレバズツ面白イ、而モソレハ損ヲシテモ痛痒ヲ感ジナイ、月給ヲ貰ッテ事業經營ヲヤルト云フコトハ確ニ愉快ニ違ヒナイ、私ハ殖産銀行ノ幹部ノ人ニサウ云フ野心ナドハナイト思フガ、銀行ノ中デ報告ヲスルノハ皆下僚ノ人ガ報告ヲスル、此者ノ擔保能力ハ是ダケアル、是レ以上ハ貸セヌト云フコトノ認定ハ、皆サウ云フ人ガ決メテ、ソレニ幹部ノ人ガ判ヲ捺スダケデス、サウ云フ人ガ全然ソレヲ乘取ラウトスル、是ハ朝鮮總督府ノ人ニソレヲ管理シテ呉レト云フテモ——シテ貰ハナケレバナラヌケレドモ中眼ガ行届クモノデハアリマセヌ、恐ラク機微ノ點ニ付テハ殖産銀行ノ幹部ト雖モ是ハ出來ナカラウト思フ、サウシテ是レ以上ノ能力ガナイカラ貸セナイト言フ、所ガ水利組合ノ方ハ役人ガ決メタノダカラドウシ

テモ組合費ハ待テナイト云フノデ、内地ニ於テ拂込ヲ取ラウニモ、事實ニ於テ其拂込ガ出來ヌト云フコトニナレバ、結局銀行ニ取ラレテシマフ、斯ウ云フコトノ爲ニ惱ンデ居ル事實ガ非常ニ多イノデアリマス、私ハ此特殊ノ事情ノ下ニ於テ朝鮮ニ於テ事業ヲヤッタ者ハ、今日豫期セザル米價下落ノ爲ニ非常ニ困難ナル狀態ニ陥ッテ居ルモノト思フノデアリマス、勿論政務總監カラ先程言ハレタ通り、經費ヲ節約シ、色々改良シテ諸式ニ於テ總テ節約スル、是ニハ好イ機會デ、事業家其者ニ非常ナル警醒ヲ與ヘ、反省ヲサセルニハニ洵ニ好イ機會ト思ヒマスシ、又事實是ガ行ハレテモ居リマスガ、ソレヲヤル以上ニ此機關ヲ役人ノ手ニ取ラレ——役人或ハ近頃マデ役人ヲシテ居ッタ人ノ手ニ取ラレテシマヒ、金融ノ方面ハ金融機關ノ者ニ事業ヲ捲上ゲラレテシマフト云フコトハ、洵ニ困ッタコトダト思フノデアリマス、ソレ等ノ人ハ唯月給ヲ貰ヘバ宜シイノデ、何等有機的的關係ガナイ、別ニ其事業ガ採算ガ取レナクテモ、自分ガ損スルコトハナイ、月給ヲ貰ッテ、役人ヲシテ居ルヨリモ殖産銀行ノ管理ノ下ニ居レバ旅費デモ何デモ澤山貰ヘル、サウ云フ狀況ノ下ニ於テ愉快ニ事業ヲヤッテ居リマスケレドモ、事

業ノ内容ハ中々困ツタモノデアル、事業家ノ手ニ於テ經營サレテ居ル時ニハ擔保能力ナシト言ハレタモノガ、殖産銀行ノ手ニ依ッテ成業社ノ手ニ移ルトドン、拂込ガ補填サレル、間接ニ殖産銀行ノ金ガソレニ融通サレル、事業家ノ手ニアル時ハ擔保能力ナシト言ハレタモノガ、殖産銀行ノ手ニ移ルト擔保能力ガ出テ來ルト云フ事實ガアルノデアリマス、斯ウ云フ意味ニ於テ今日役人ノ手ニ或ハ特殊銀行ノ手ニ水利組合ノ事業ガ握ラレ——即チ此產米増殖計畫ノ内容カラ少シモ其事業ト有機的關係ノナイノ手ニ移リツ、アルト云フコトハ、非常ニ憂フベキコトデアルト思フ、今日成業社ノ手ニ移リ、又移ラントシツ、アル事業ガドレダケアルカ、ソレノ御調ガアルナラバ御報告ヲ願ヒタイト思ヒマス

○今井田政府委員 只今ノ御質問ノ要點ハ、金融業者ノ手ニ移リツ、アル水利組合ノ地區ノ面積ハ、ドノ位アルカト云フ御質問デアリマスカ

○松山委員 サウデアリマス

○今井田政府委員 其點ニ付テ調べタモノハ手許ニハナイカト思ハレマスガ、取調べマシテ後御答辯致シマス

○松山委員 ソレデハモウ一ツ、拓務大臣

竝ニ政務總監ニ特別ニ考ヘテ貰ハナケレバナラヌ所ニ到達致シタノデアリマス、今申上ゲマシタヤウニ朝鮮ニ於ケル產米増殖計畫ト云フモノハ、私ハ之ヲ朝鮮總督府ノ失敗ト言フノデアリマセヌ、已ムヲ得ザル事情ニ依リマシテ極メテ困難ナ危險ナ狀態ニ今移リツ、アル、即チ經濟自治機關デアル水利組合ハ、官僚ノ直接管理ノ下ニ移リツ、アル、ソレカラ此事業其モノガ特殊金融機關タル銀行ノ手ニ移リツ、アル、何等事業ニ付テ直接ノ利害關係モ持タナイデ、唯月給ダケ貰ツテ居ル、此有機的關係ヲ持タナイノ手ニ移リツ、アルト云フコトハ、是ハ洵ニ憂フベキコトダト思フノデアリマス、是ガ今日ノ朝鮮ニ於ケル產米増殖計畫ノ實際ニ行ハレテ居ル内容デアリマス、併シソレモ人口食糧問題ナリ他ノ意味ニ於テ必要デアルナラバ、是モ亦或ル程度マデハ忍バネバナラヌト思ヒマス、人間ノスルコトハサウ理想的ニハ運ビマセヌカラ……、所ガ日本内地ニ於テ此朝鮮ノ產米増殖計畫ヲドウ觀テ居ルカト申シマス、即チ日本ノ農村ニ於テ常ニ喧シイコトハ一般會計ノ——日本内地ノ農民ノ負擔ニ依ル一般會計ノ負擔ニ於テ朝鮮ノ產米増殖計畫ヲヤル、農民ガ貯金ヲシタ預金部ノ低利資金ヲ朝鮮

ニ融通シテ、之ニ依ッテ產米増殖計畫ヲヤリ、其殖ヤサレタ產米ニ依ッテ日本内地ノ農民ハ壓迫サレテ居ル、之ニ對スル不平ノ聲ハ可ナリ激シイデアリマス、是ニ於テ初ノ產米増殖計畫ヲ立テタ當時ノ目的デアッタ人口食糧問題解決ノ要望——差當リ今ハ其要求ガ少クナツタ、是ガ十年ノ後ト云フコトナラ又考ヘルコトモアリマセウガ、今日ノ場合ニ於テ朝鮮ノ產米増殖計畫ト云フモノニ一大轉向ヲ來タス必要ガアル、斯様ニ私ハ考ヘルノデアリマス、ソレハ私ガ此處デ申シマス斯ウ云フヤウナコトハ、是ハ朝鮮總督府ノ役人モ大抵知ツテ居ル、所ガソレハ言ヘナイ、内地ヘ其事業ノ計畫ヲ持ッテ來タ時ニハ、非常ニ有利ナヤウニ事業ガ旨ク行ッテ居ルヤウニ言ッテ、サウシテ内地カラ金ヲ持ッテ行ツカラ、今更其朝鮮總督府ノ役人ガ自分カラ進ンデ轉向スルト云フコトハ到底出來ナイノデアリマス、此處ガ今申シマスル政治的解決ヲ要スル點デアル、私ハ政務總監及拓務大臣ニ特ニ此點ニ付テ政治的考慮ヲ拂ッテ戴キタイ、斯ウ思フノデアリマス、ト云フノハ今御報告ヲ得タイト思ヒマシタガ、調べタ上デト云フコトデアリマシタガ、年々水利組合ニ使ッテ居ル金ハ、私ノ記憶シテ居ル所デハ千六七百萬圓ダト思ヒマ

ス、其千六七百萬圓ノ金ヲ、此土地改良事業ノミニ使ッテ居ルヲ少シ轉向サセタラドウカ、勿論此土地改良事業ト云フモノハ今日既ニ著手シテ居ル、或ハ事業ノ經營上或ハ其事業家ノ好ミニ依ッテ自然ニ此產米増殖、土地改良事業ト云フモノヲヤル數ハ年々相當ニアルト思ヒマス、ソレマデモ壓迫シテ止メル必要ハナイト思ヒマス、今日ノ朝鮮ノ產米増殖計畫ト云フモノハ、厭ガルモノヲ無理ニヤラシテ居ル、殆ド強制的ニヤラセテ居ル、斯ウ云フヤウニ無理ニ勸メルヤウナコトヲ廢メテ、自然的ニ行クモノハ、内地ニ於テモヤッテ居ルノデアルカラ、是ハヤラシテ宜イガ、無理ニ勸メルト云フコトヲ廢メテ、其金ヲ以テ不良水利組合ノ救済ニ充テタラドウカ、今後產米増殖計畫ノ年數ガ何年アルカ、是モ御尋致シマシタガ、マダ報告ヲ得マセヌケレドモ四年トカ五年トカ、三四年ハアルカト思ヒマス、然ラバ其四年ナリ五年ナリノ計畫分ヲ使ッテ、財源トシテ四五年計畫デ不良水利組合ヲ整理スル、之ヲ救済ヲシ、援助ヲ與ヘ、整理スル、斯ウ云フ計畫ヲ立テタラドウカ、今日マデ產米増殖計畫一手ニ入レテ居ツタカラ、其手ヲ緩メテ不良水利組合

ノ救済ニ轉向スルコトニシタラドウカ、是ハ朝鮮總督府ノ下ノ役人ノ方カラ自發的ニ其意見ヲ求メルト云フコトハ無理ダト思フカラ、朝鮮ニ赴任セラレテマダ餘リ時ガナク、今マデノ過去ノ因縁情實ニ捉ハレル必要ノナイ政務總監ナリ、又大局ヲ握ッテ居ラレル拓務大臣ニ於テ、此政治的考察ヲ此場合此點ニ加ヘル必要ガアリ、是ハ是非ヤッテ戴キタイト思フデアリマス此點ニ付テ拓務大臣ノ御答ヲ求メマス

○永井國務大臣 先程カラ松山君ノ朝鮮ノ水利組合ニ關スル御意見ヲ承リマシテ、非常ニ參考ニナッタノデアリマス、朝鮮ノ產米増殖計畫ヲ時代ノ要求ニ應ジテ轉向セシメルコトニ付テ、考慮シナケレバナラスト云フ御意見ハ同感デアリマス、此產米増殖計畫ヲ轉向セシムルニ當ッテ、不良水利組合ヲ建直スト云フコトニ付テ、特ニ努力ヲスル必要ガアルト云フ點モ、私共ハ大ニ考慮ノ必要ガアルト存ジテ居リマス

○松山委員 私ノ質問ハ是デ終リマシタ

○出井委員長代理 ソレデハ本日ハ是デ散會致シマス、次ハ二十七日午後一時カラヤリタイト思ッテ居リマス

午後四時十分散會